



⑤

令和元年度 神奈川県公営企業会計

決算説明資料
～グラフで見る決算～

神奈川県企業庁

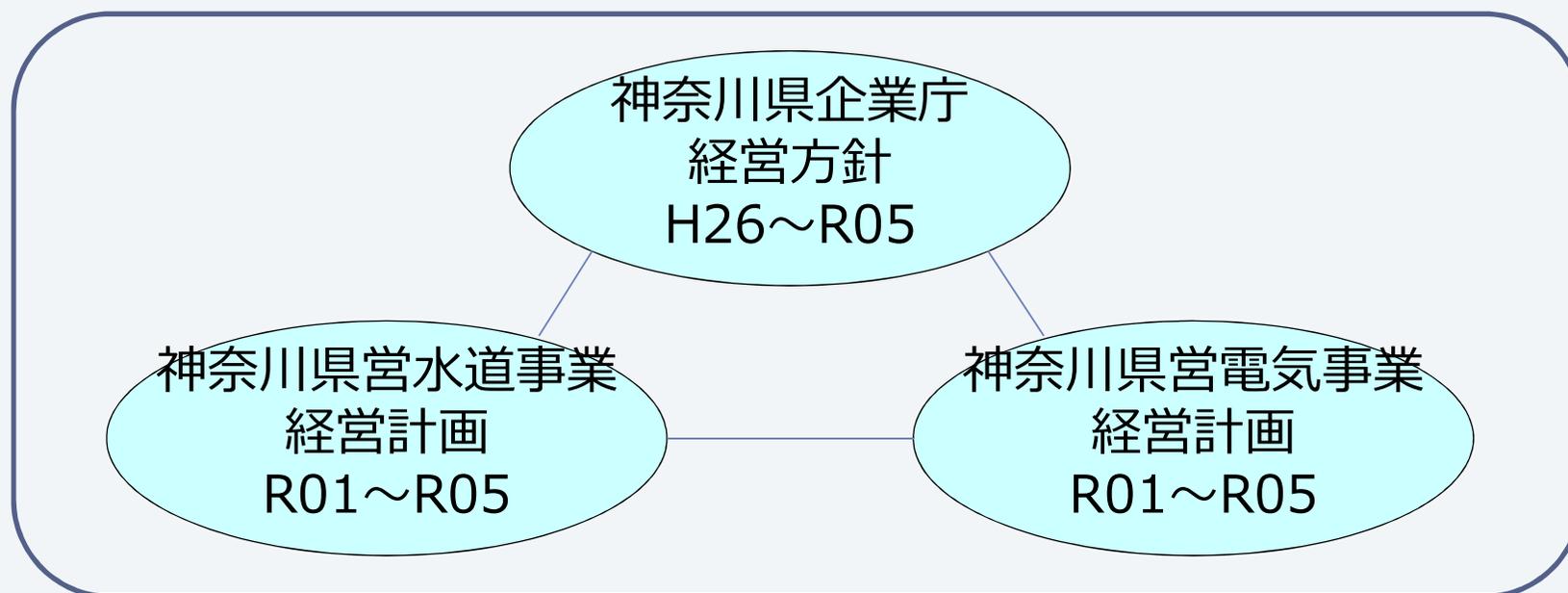


目次

I	令和元年度における主な取組の内容	1
1	水道事業	2
2	電気事業	15
3	公営企業資金等運用事業	23
II	令和元年度公営企業会計決算額総括表	27
III	各事業会計の決算の状況	29
	水道事業会計	29
	電気事業会計	45
	公営企業資金等運用事業会計	58
	相模川総合開発共同事業会計・酒匂川総合開発事業会計	68

I 令和元年度における主な取組の内容

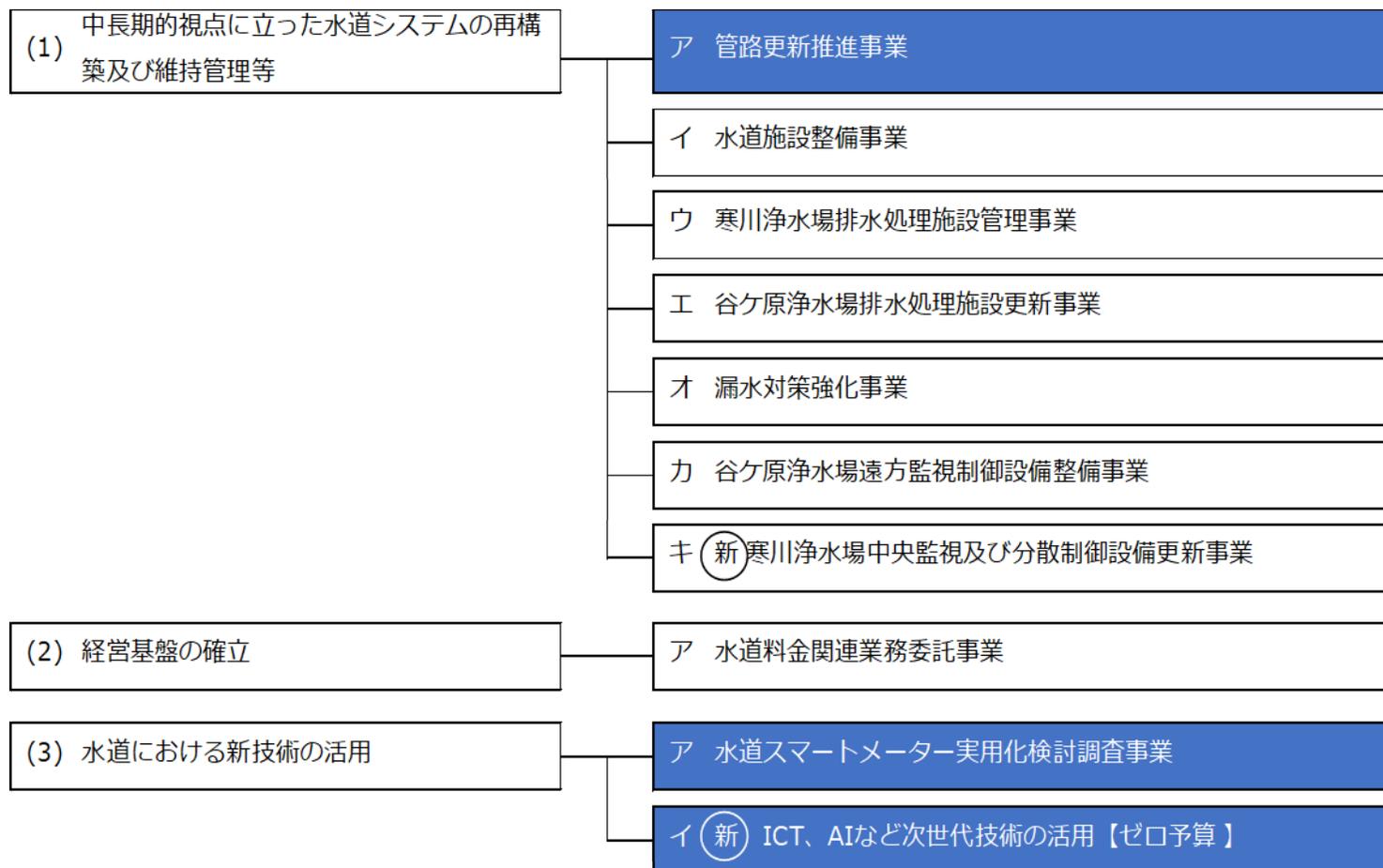
水道事業、電気事業の「経営計画」の初年度として、計画に掲げる目標達成に向けて、施設の耐震化や老朽化対策を計画的に進め、水道と電力の安定供給を図るとともに、水道スマートメーター等の新技術導入に向けた研究や、再生可能エネルギーの地産地消等にも積極的に取り組みました。



1 水道事業会計

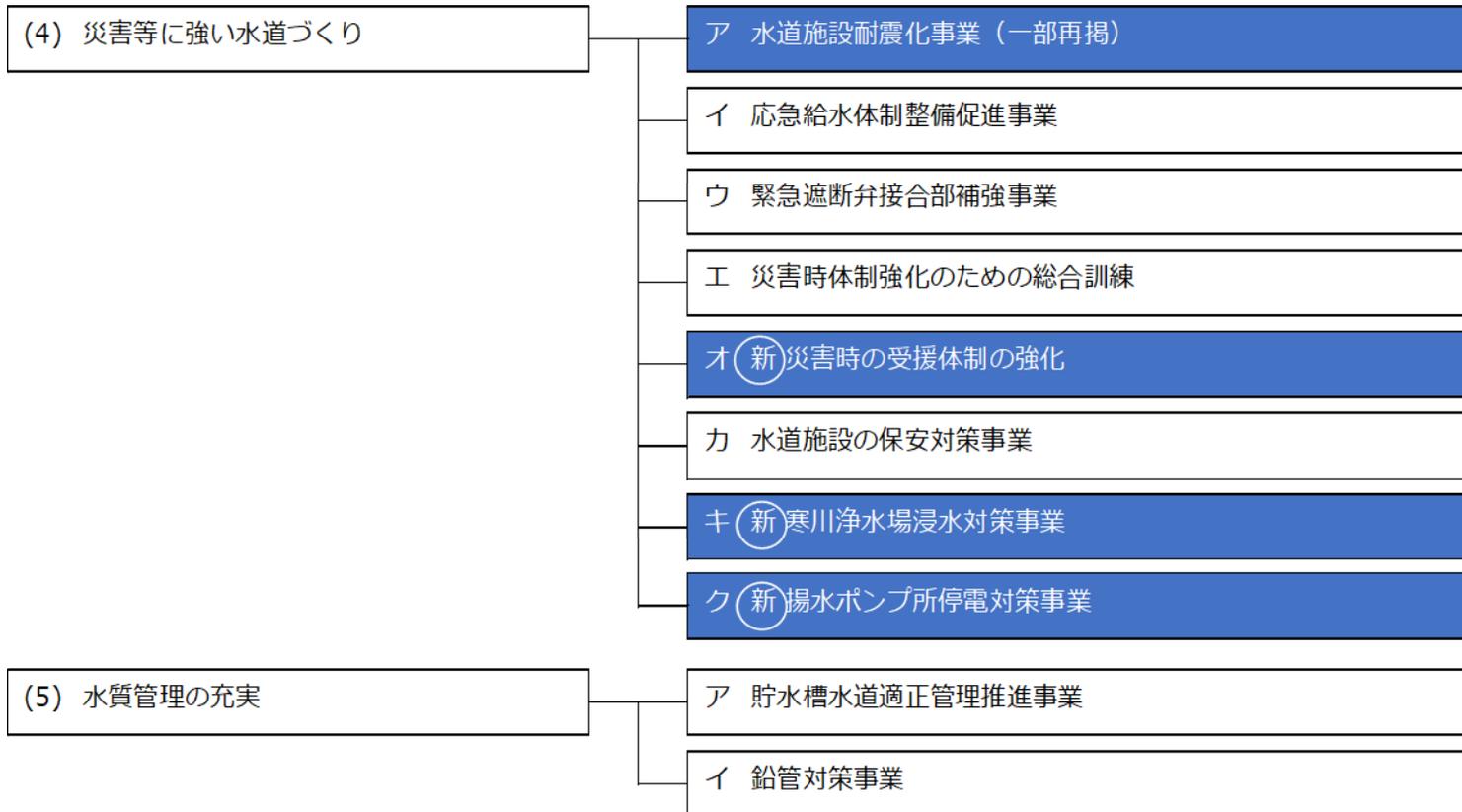
1 水道事業

<主要施策体系図>



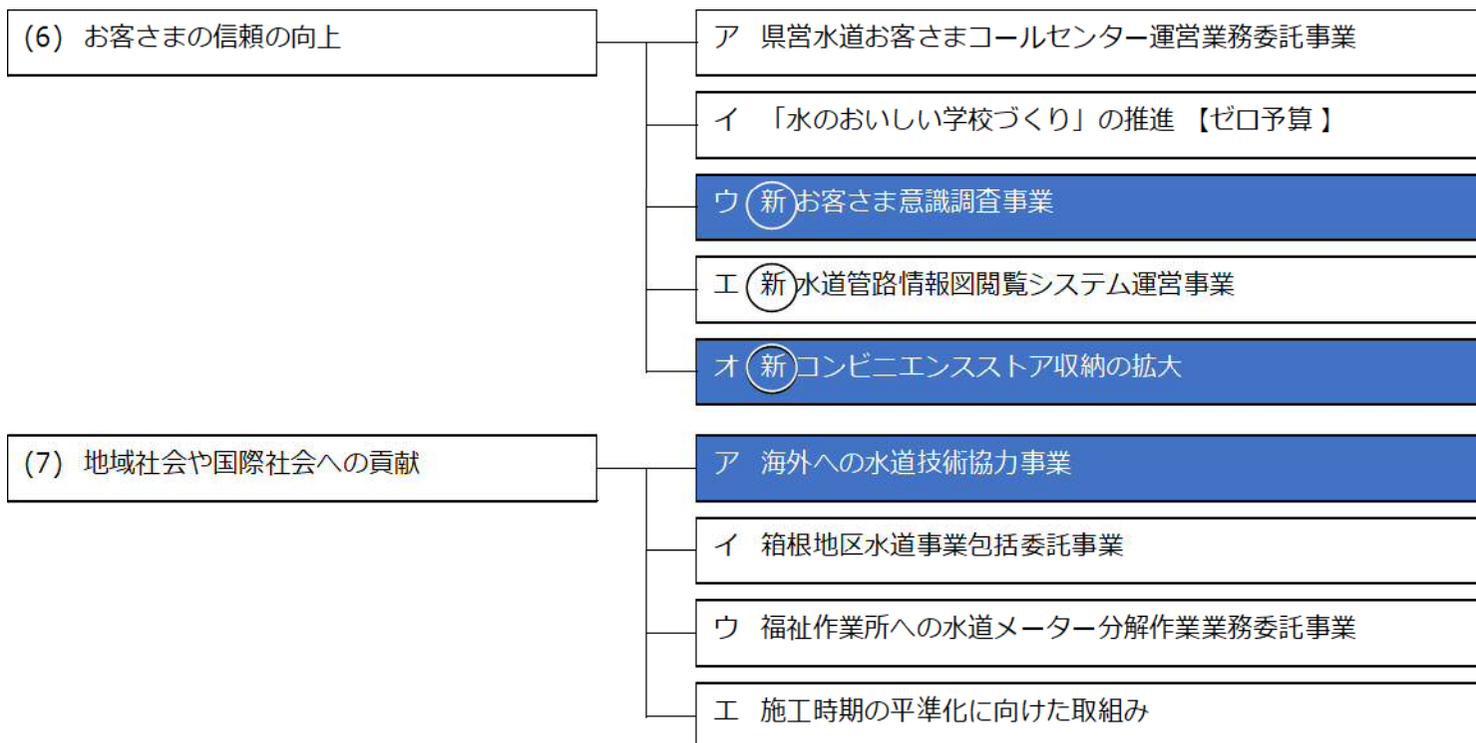
1 水道事業

<主要施策体系図>



1 水道事業

<主要施策体系図>

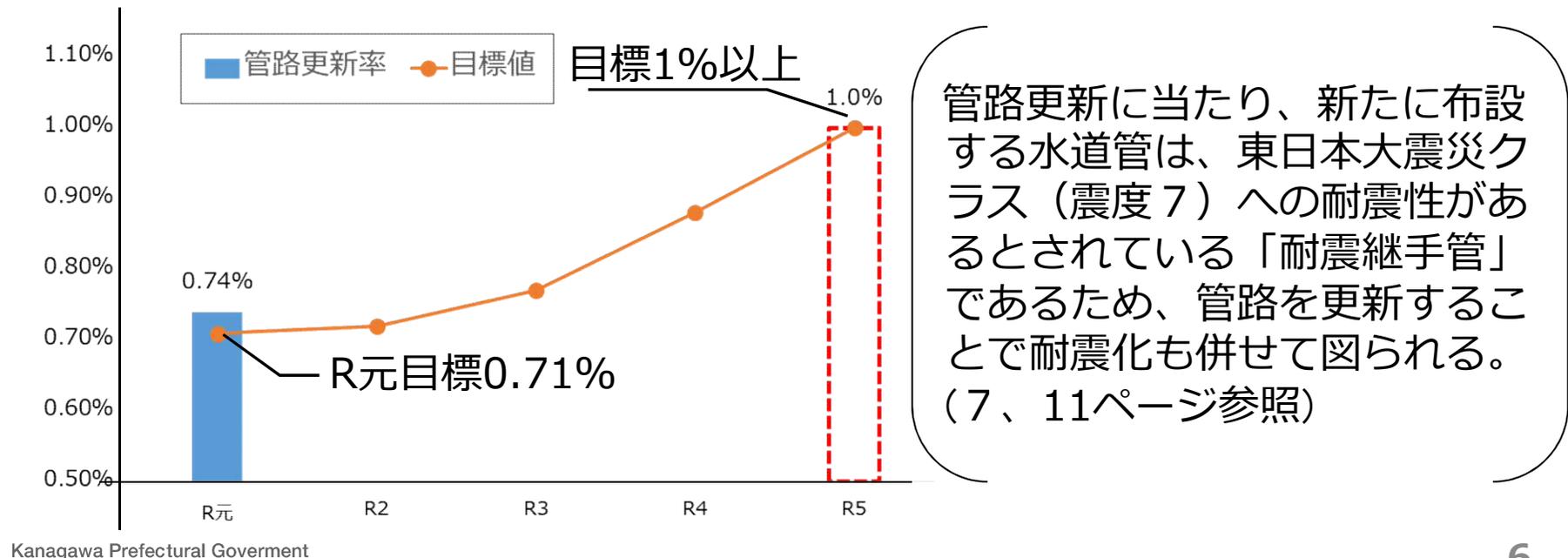


管路更新推進事業

事業内容

- 年間の管路更新率を計画期間内に1%以上に引き上げ、100年以上の耐久性が期待できる耐震継手管を使用して、老朽化が進む管路の更新と耐震化を推進する。

取組状況（年間の管路更新率）



(1) 中長期的視点に立った水道システムの再構築及び維持管理等

管路更新推進事業の状況 | 写真



鎌倉市佐助地内送水管基幹管路更新工事 耐震継手管埋設工の様子



耐震継手管

Kanagawa Prefectural Government

耐震継手管は、水道管と水道管をつなぐ「継手」部分が鎖構造になっており、管が伸び縮みしながら、揺れを吸収するとともに、突部構造により水道管の抜け出しを防ぐことのできる離脱防止機能付きの水道管である。

水道システムの再構築

事業内容

- 配水池や小規模水源の統廃合を推進するほか、県内の水道事業者との広域的な連携に取り組む。

取組状況

- 令和元年11月に5水道事業者*及び水道事業、河川行政に関する有識者を構成員とする「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」を設置
- 5水道事業者で取り組む方向性
 - ① 浄水場の統廃合など大胆なダウンサイジングにより、5水道事業者全体で最適となるよう施設を再構築する
 - ② 災害時等に浄水場が停止した場合のバックアップ体制を強固にするため、取水から浄水までを一体的に運用する仕組づくりを進める
 - ③ エネルギー消費、災害リスクの低減を図るため、ポンプを使わずに送水できる上流からの取水を優先した水道システムの構築を目指す



※ 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市、神奈川県内広域水道企業団

(3) 水道における新技術の活用

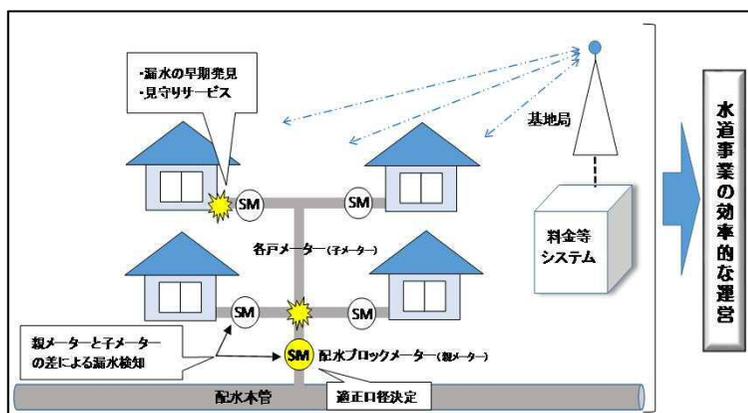
事業内容（水道における新技術の活用）

- スマートメーターのパイロット的試行や、センサー・AI等を使った設備の維持管理技術や管路の劣化予測方法の研究等を行う。

水道スマートメーター実用化検討調査事業

取組状況

- 令和元年度事業費 | 6,259千円
- 水道スマートメーターの実用化に適した通信方式の研究を行った。

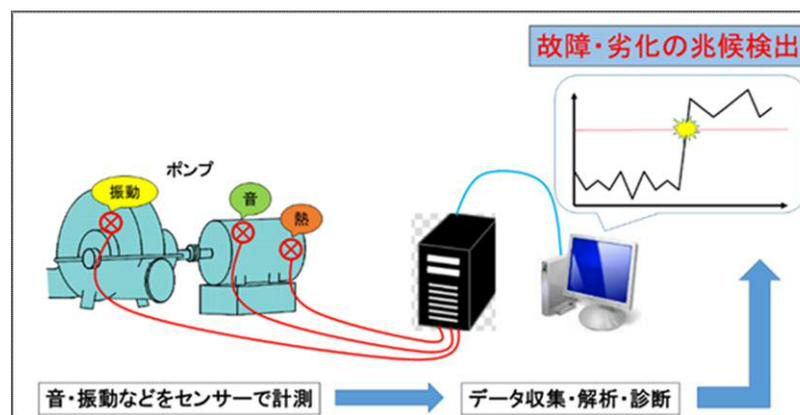


Kanagawa Prefectural Government

ICT、AIなど次世代技術の活用

取組状況

- 令和元年度事業費 | - 千円
- AI等を用いた「電気・機械設備の故障・劣化診断技術」について、民間事業者と共同研究の協定を締結した。



(4) 災害等に強い水道づくり

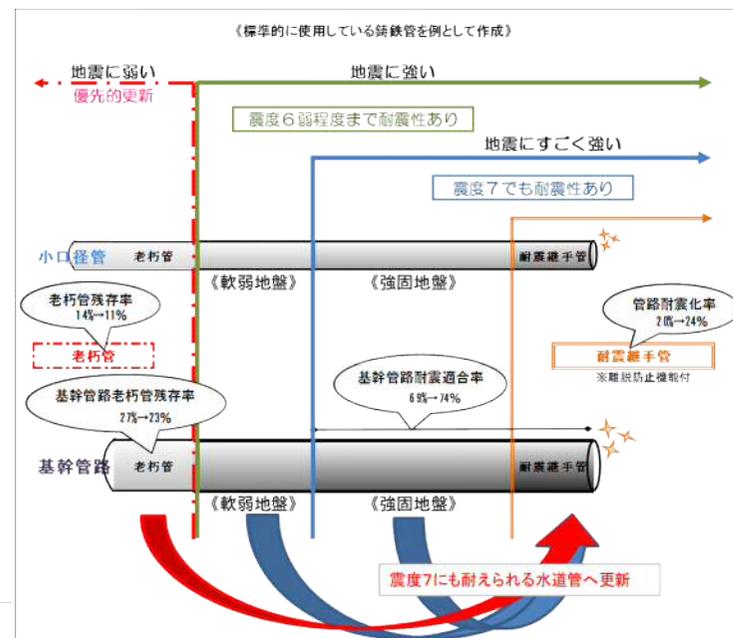
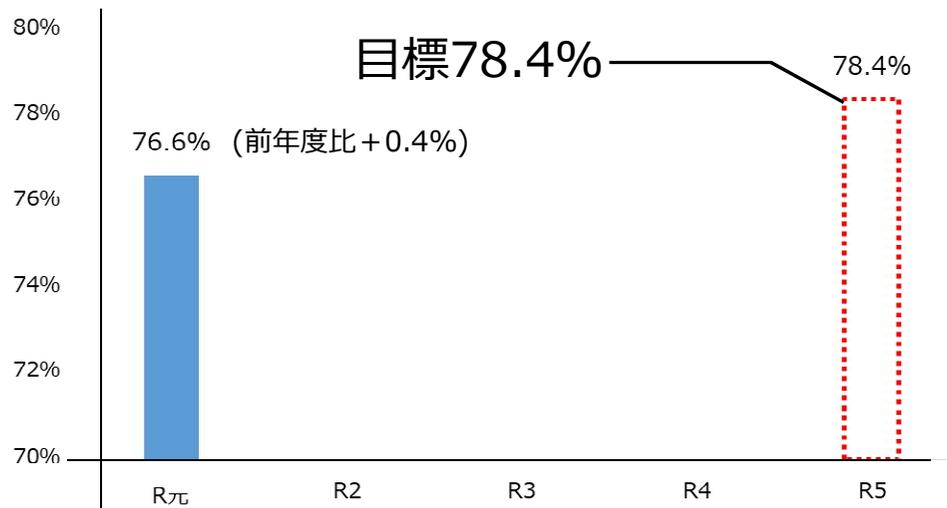
水道施設耐震化事業

事業内容

浄水場や配水池、重要給水施設への供給管路等の耐震化を進める。

取組状況

● 地震に強い管路の割合



「地震に強い水道管」関係のイメージ図

● 災害協力病院への供給管路の耐震化

指標	H30	R元	R2	R3	R4	R5	計	目標
実施病院数	1	2					3	9

(4) 災害等に強い水道づくり

水道施設耐震化事業の状況 | 写真



平塚配水池（平塚市）内部の柱に鉄筋を挿入して補強している様子



寒川浄水場送水ポンプ井の躯体に鉄筋を挿入して補強している様子
(寒川第3浄水場は令和元年度で耐震化完了)

(4) 災害等に強い水道づくり

事業内容（危機管理体制の充実）

- 浄水場の火山対策、浸水対策やポンプ所の停電対策を行うほか、他事業者との災害訓練の充実や水道施設の保安対策の強化を図る。

災害時の受援体制の強化

取組状況

- 令和元年度事業費 | 601千円
- 災害時の相互応援協定を締結している千葉県企業局や、管工事業者と合同訓練を実施した。



千葉県企業局との合同訓練の様子

Kanagawa Prefectural Government

寒川浄水場浸水対策事業

取組状況

- 令和元年度事業費 | 16,469千円
- 相模川や目久尻川の氾濫に備えた寒川浄水場の浸水対策として、計画を前倒して敷地外周フェンス基礎の嵩上げ等に着手した。

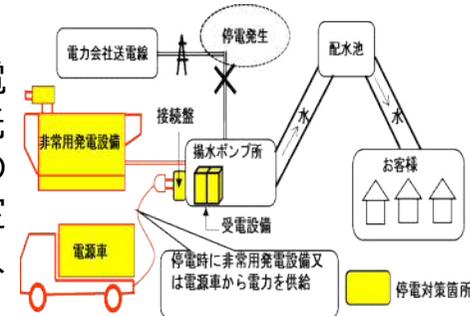


揚水ポンプ所停電対策事業

- 令和元年度事業費 | 15,580千円

取組状況

- 揚水ポンプ所の停電対策として、令和元年度からの2か年の債務負担行為を設定し移動電源車の導入に取り組んだ。



(6) お客様の信頼の向上

事業内容（お客様のニーズを踏まえた事業運営）

- お客様意識調査を実施するほか、コンビニエンスストアでの支払拡大等に取り組む。

お客様意識調査事業

取組状況

- 令和元年度事業費 | 10,582千円
- 給水区域の在住者5,000人を対象とした「お客様意識調査」、及び大口の921事業所を対象とした「事業所調査」を実施した。

事業所等調査

調査対象 | 大口事業所 921所
調査方法 | 郵送
回収結果 | 630件



内容
・水の使用状況
・今後の使用見込み
・水道料金への意識

個人調査

調査対象 | 満20歳以上 5,000人
調査方法 | 郵送、インターネット
回収結果 | 2,413件



内容
・水の使用状況
・水の節水状況
・水道料金への意識

Kanagawa Prefectural Government

水道の使用開始・休止の電子受付

取組状況

- 令和元年度事業費 | 20,254千円
- 県営水道の使用開始・休止手続きについて、LINE等を活用した電子申請の運用を開始した。



コンビニエンスストア収納の拡大

取組状況

- 令和元年度事業費 | 10,499千円
- 給水装置工事に係る審査手数料などの収納金について、上下水道料金と同様にコンビニエンスストアでの支払いを可能にした。



(7) 地域社会や国際社会への貢献

海外への水道技術協力事業

事業内容

- 令和元年度事業費 | 2,030千円
- 海外への技術協力に取り組むほか、ベトナムランソン省への具体的な技術協力を行う。

取組状況

- 「水量管理分野を対象とする覚書」を締結したランソン省への技術協力について、プロジェクトチームを設置し、現地での技術協力等を行った。

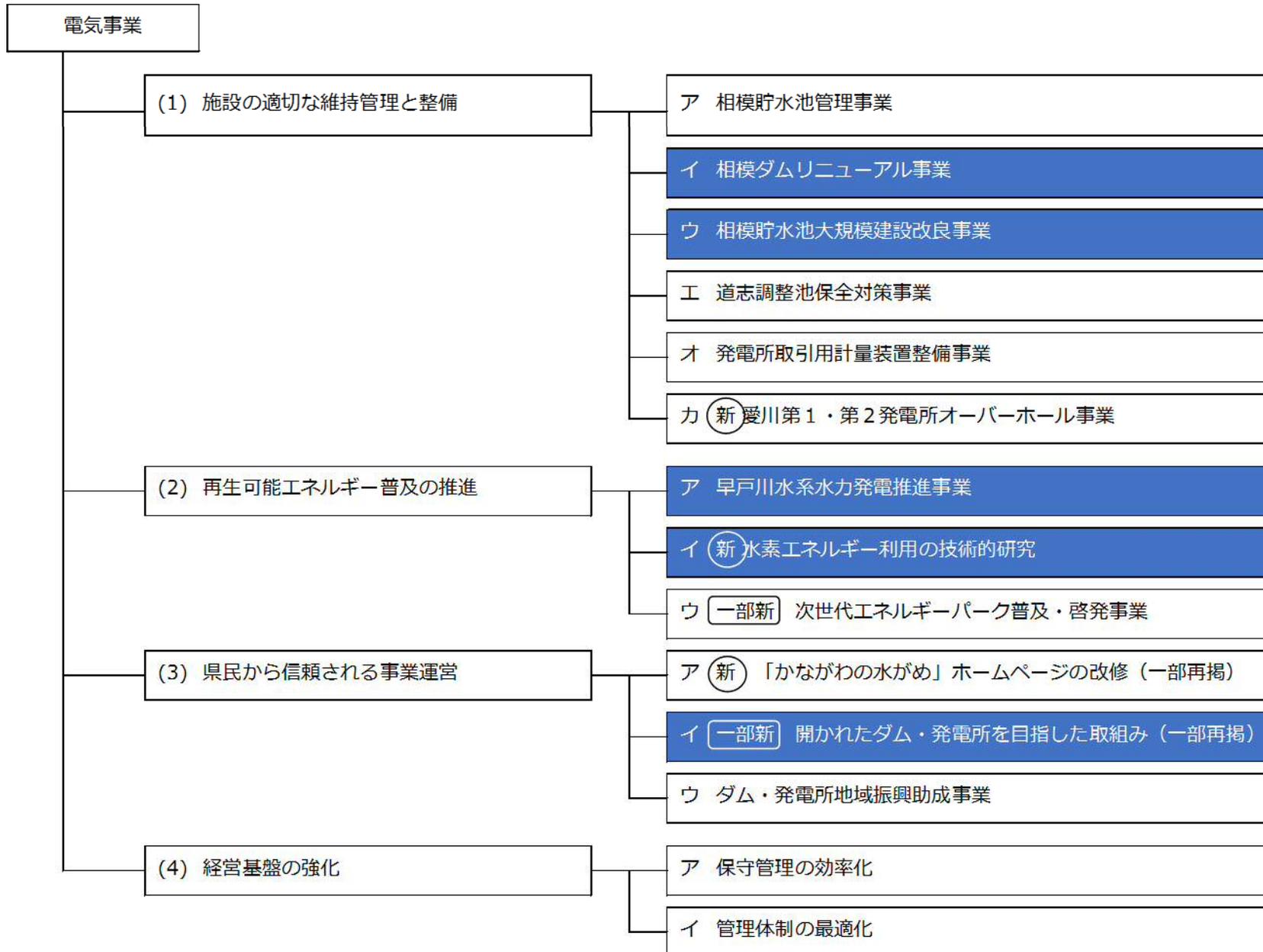


技術協力の様子

2 電気事業会計

2 電気事業

<主要施策体系図>



(1) 施設の適切な維持管理と整備

相模ダムリニューアル事業

事業内容

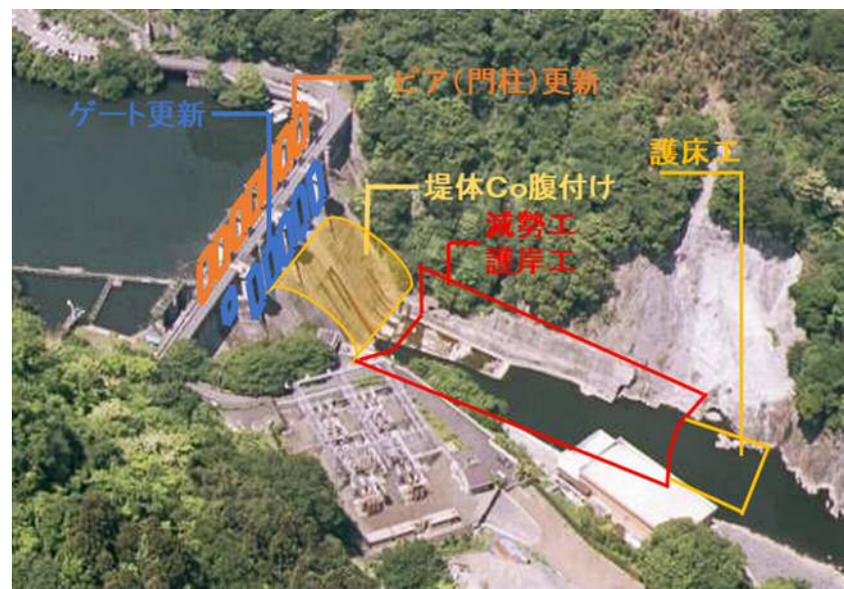
- 令和元年度事業費 | 193,749千円
- 相模ダムを将来にわたり健全に保ち、ダムの機能を維持するため、事業計画に基づき、老朽化したダムのゲート等の取替えや、ダム直下流の洗堀された河床等の保護を行う設計業務等を実施する。

取組状況

- 放流設備及び下流施設の形状、配置等を決定するために、概略設計を実施したほか、ダム下流工事用進入路等の建設に必要な用地取得と詳細設計を実施した。

事業スケジュール

- | | |
|------------|----------|
| ・ 調査及び設備工事 | R元～R5年度 |
| ・ 下流施設工事 | R6～R10年度 |
| ・ 放流施設工事 | R9～R20年度 |



相模ダムリニューアル事業図

(1) 施設の適切な維持管理と整備

相模貯水池大規模建設改良事業

事業内容

- 令和元年度事業費 | 1,294,170千円
- 上流域の災害防止と、県民の大切な「水がめ」としての機能を確保するため、相模貯水池等に堆積した土砂（堆砂）を除去し、しゅんせつした土砂の有効活用を図る。

取組状況

- 相模貯水池で約15万2千 m^3 の土砂のしゅんせつを実施した。
- 相模貯水池については、令和2年度から令和11年度までの10年間に計画期間とした「相模貯水池堆砂対策事業計画」を新たに策定した。



しゅんせつの様子

(2) 再生可能エネルギー普及の推進

早戸川水系水力発電推進事業

事業内容

- 令和元年度事業費 | 33,253千円
- 再生可能エネルギーの供給を増やすため、新たな小水力発電所の建設に向けた計画を進める。

取組状況

- 早戸川上流域における新たな小水力発電所の導入に向けて、測量、地質調査及び基本設計を実施した。
- 令和元年東日本台風による林道の通行止めにより、実施設計等の令和2年度当初予算の計上を見送った。



早戸川上流における新たな小水力発電所の設置

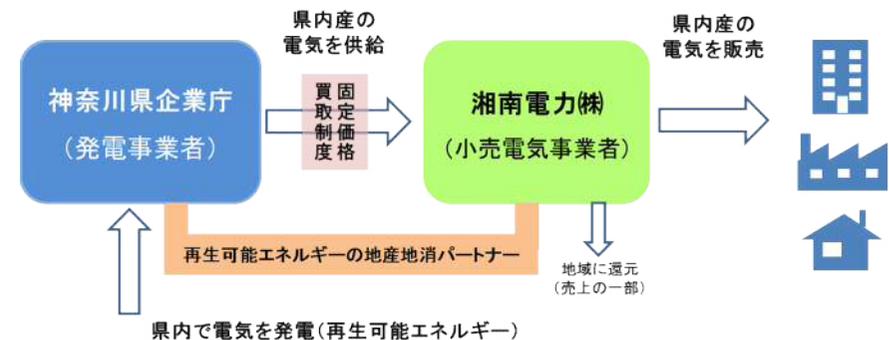
(2) 再生可能エネルギー普及の推進

事業内容（地産地消の推進）

- 再生可能エネルギーで発電した電力の地産地消の取組を進める。

取組状況

- 早戸川発電所、愛川太陽光発電所及び谷ヶ原太陽光発電所で発電した電気について、湘南電力株式会社と令和4年度までパートナー契約を結び、地産地消に活用している。
- 企業庁、県、東京電力エナジーパートナー株式会社で「アクアdeパワーかながわ」に係る協定を令和元年12月27日に締結し、企業庁の水力発電所で発電した電気の環境価値を活用し、再生可能エネルギーの地産地消及び県内企業の二酸化炭素排出量の削減並びに県の環境施策に活用する仕組みを構築した。



湘南ベルマーレ
早戸川発電所



湘南ベルマーレ
愛川太陽光発電所



湘南ベルマーレ
谷ヶ原太陽光発電所

(地産地消パートナー契約に基づく愛称の付与)

(2) 再生可能エネルギー普及の推進

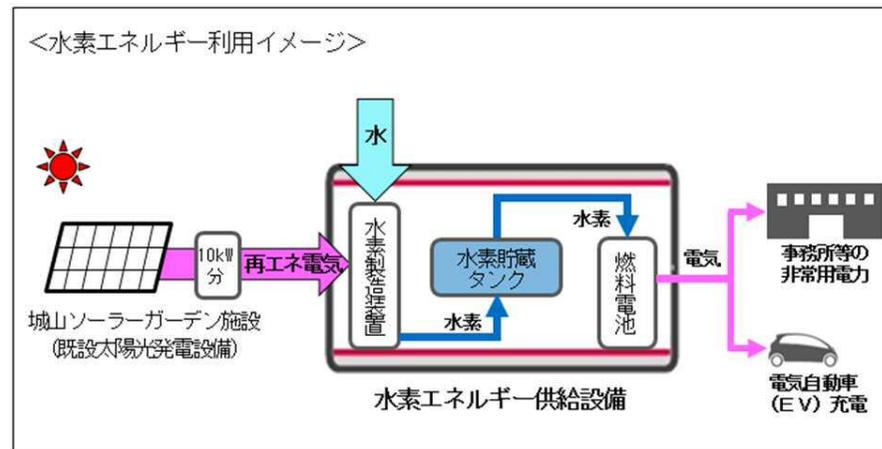
水素エネルギー利用の技術的研究

事業内容

- 令和元年度事業費 | 9,177千円
- 水素エネルギー利用の動向を見据え、県営電気事業として事業化の可能性も含め、設備の運用や維持管理に関するノウハウの習得を図るとともに、水素エネルギーとしての利用方法について研究する。

取組状況

- 既設の城山ソーラーガーデン太陽光発電設備で発電した電気を水素に変換するための「水素エネルギー供給設備」の設置工事を令和元年度からの2か年の債務負担行為を設定して実施している。



(設置場所：相模川発電管理事務所駐車場内)

(3) 県民から信頼される事業運営

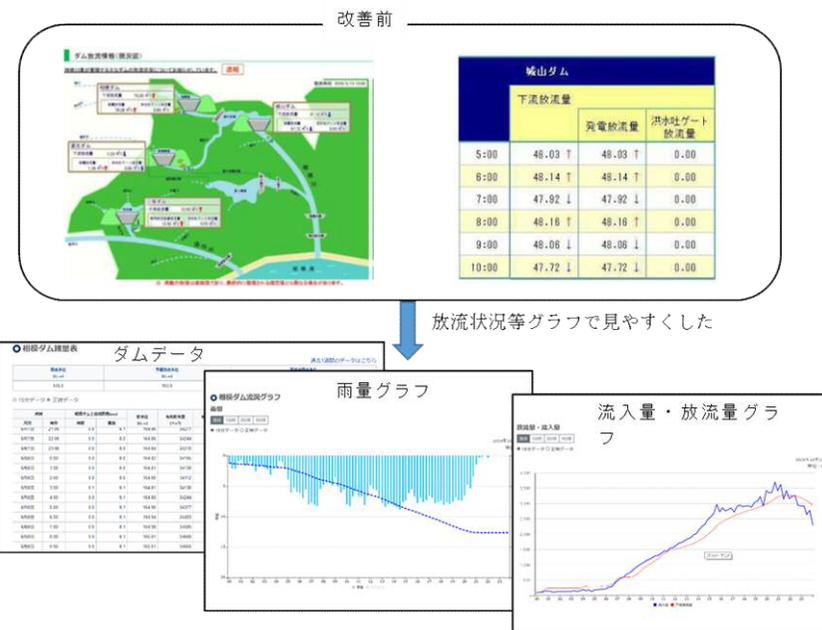
開かれたダム・発電所を目指した取組

事業内容

- 多くの人に県営電気事業を理解してもらうとともに、ダムや発電所に親しみをもちってもらうため、積極的な広報を行うほか、ダム等を観光資源として活用した取組を進める。

取組状況

- ダムの貯水状況や放流状況等を提供するホームページ「かながわの水がめ」の内容を充実させ、より見やすく改善したほか、ダム事業の紹介等を行っているホームページも全面リニューアルし情報提供コンテンツを充実させた。
- ダム、発電施設において、地域等のイベントと連携したダム施設等見学会を開催し、ダムカード、発電所カードを配布した。



3 公営企業資金等運用事業

地域振興施設等整備事業



(1) 山北町洒水の滝遊歩道整備事業 | 1,232千円

- 新たな遊歩道の整備及び周辺の落石対策等を実施するもので、令和2年度は整備工事を行う。



(2) 寒川町営プール整備事業 | 25,868千円

- 現在休止中のプール施設について25mプールの新設等のリニューアルを実施するもので、令和2年度は整備工事を行う。

※令和2年度からは、(仮称)寒川町学校給食センター整備事業を開始

3 公営企業資金等運用事業

LINEによる情報発信

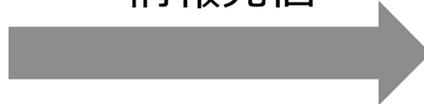
- 令和元年度事業費 | 3,311千円
- 企業庁LINE公式アカウントを開設し、断水情報やダムの放流情報などの緊急情報等を迅速に情報発信した。(R2.6末時点 友だち登録者数 | 15,581人)

各種イベント情報、悪質業者や詐欺等の注意喚起、ダムの貯水状況、計画断水情報等も発信



神奈川県企業庁
LINE公式アカウント

情報発信



友だち登録



令和元年東日本台風の影響(水道施設)

- 浄水場や配水施設へ被害が生じ、相模原市緑区では、土砂崩れや斜面崩落により導水管の破断や取水口の埋没が発生した。



斜面崩落による導水管破損
(長野浄水場)



埋没した取水口
(底沢浄水場)

令和元年東日本台風の影響(ダム施設)

- 津久井湖の湖岸崩落や土砂の堆積、設備の損傷などが発生した。また、城山ダムや三保ダムには大量の流芥が漂着した。



城山ダム流芥の様子
(R1.11.8時点)



城山ダム流芥処理工事の様子

Ⅱ 令和元年度公営企業会計決算額総括表

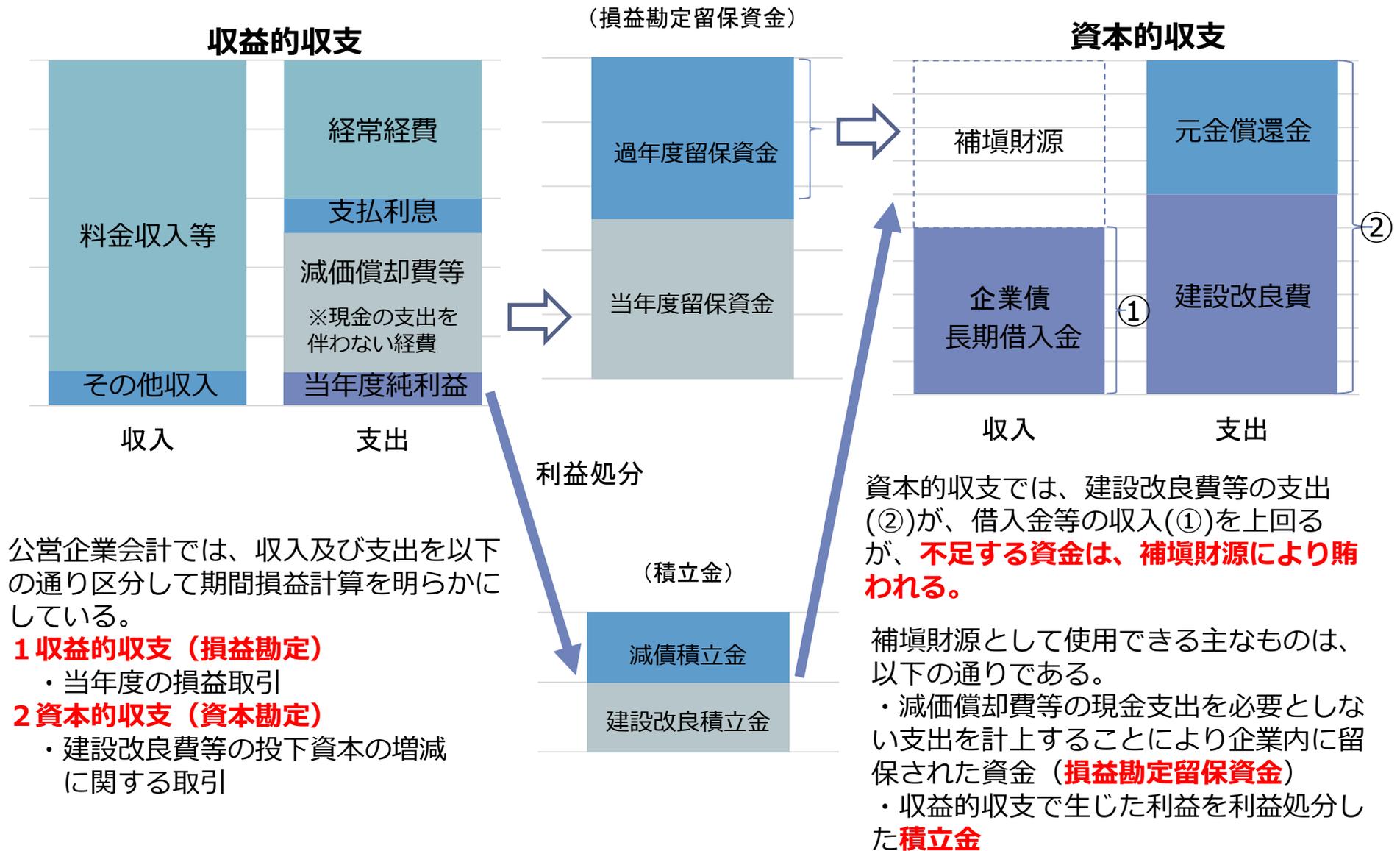
(単位：百万円)

会 計 名	勘定 区分	収入決算額	支出決算額	当年度損益
				補填財源使用額
水道事業会計	損益	59,226	52,553	5,129
	資本	15,292	34,333	△ 19,041
電気事業会計	損益	8,557	7,902	606
	資本	4	1,304	△ 1,300
公営企業資金等 運用事業会計	損益	1,021	697	331
	資本	4,068	6,207	△ 2,139
相模川総合開発 共同事業会計	損益	1,783	1,797	-
	資本	932	919	-
酒匂川総合開発 事業会計	損益	1,315	1,315	-
	資本	68	68	-
合 計	損益	71,905	64,266	6,067
	資本	20,366	42,833	△ 22,480

(注1) 収入決算額、支出決算額は税込みであり、収入決算額から支出決算額を差し引いた額は当年度損益と一致しない。

(注2) 表及びグラフ等の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所がある(次頁以降同様)。

(参考) 公営企業会計の仕組み



水道事業会計

1 決算の概要

水道事業会計

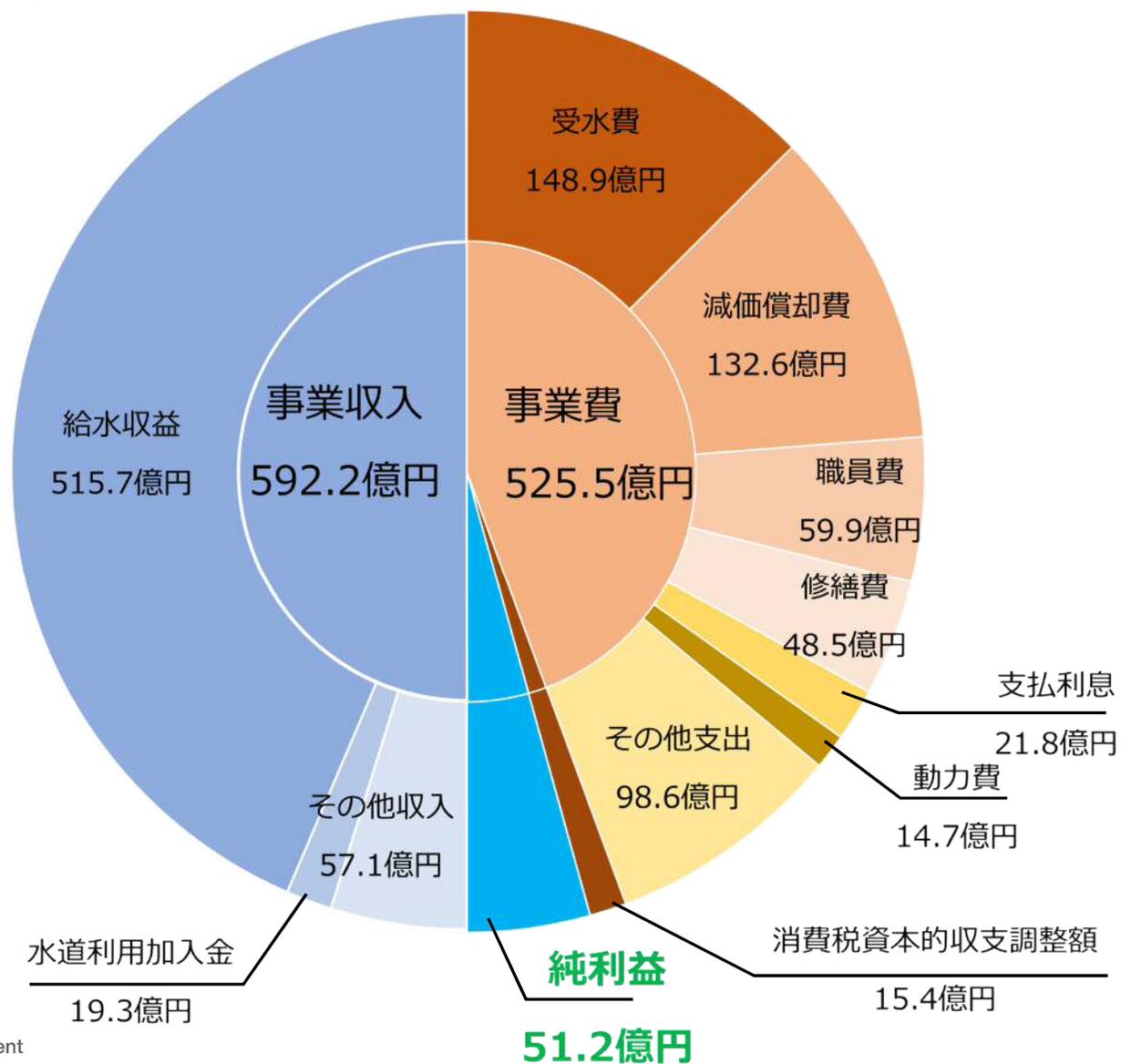
<収益的収支>

(単位：百万円)

科目等	令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入 a	59,226	59,798	△ 571
営業収益	54,901	55,266	△ 364
給水収益	51,575	51,840	△ 264
その他収入	3,326	3,426	△ 99
営業外収益	4,224	4,468	△ 243
水道利用加入金	1,936	2,036	△ 99
その他収入	2,287	2,431	△ 143
特別利益	99	63	36
収益的支出 b	52,553	52,298	255
営業費用	49,784	48,653	1,131
職員費	5,992	6,135	△ 143
受水費	14,898	14,766	132
動力費	1,479	1,560	△ 80
修繕費	4,859	4,575	284
減価償却費	13,266	12,889	377
その他支出	9,287	8,726	560
営業外費用	2,760	3,571	△ 811
支払利息	2,186	2,465	△ 278
その他支出	573	1,106	△ 532
特別損失	8	73	△ 64
消費税資本的収支調整額 c	1,543	1,198	344
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	5,129	6,301	△ 1,171

1 決算の概要

<収益的収支>

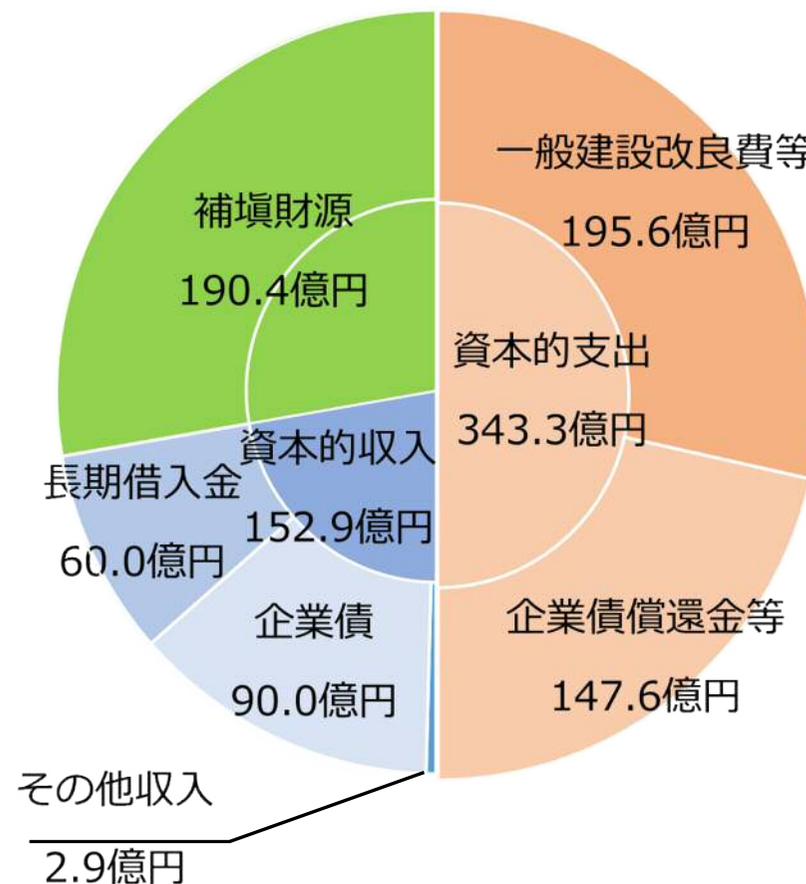


1 決算の概要

<資本的収支>

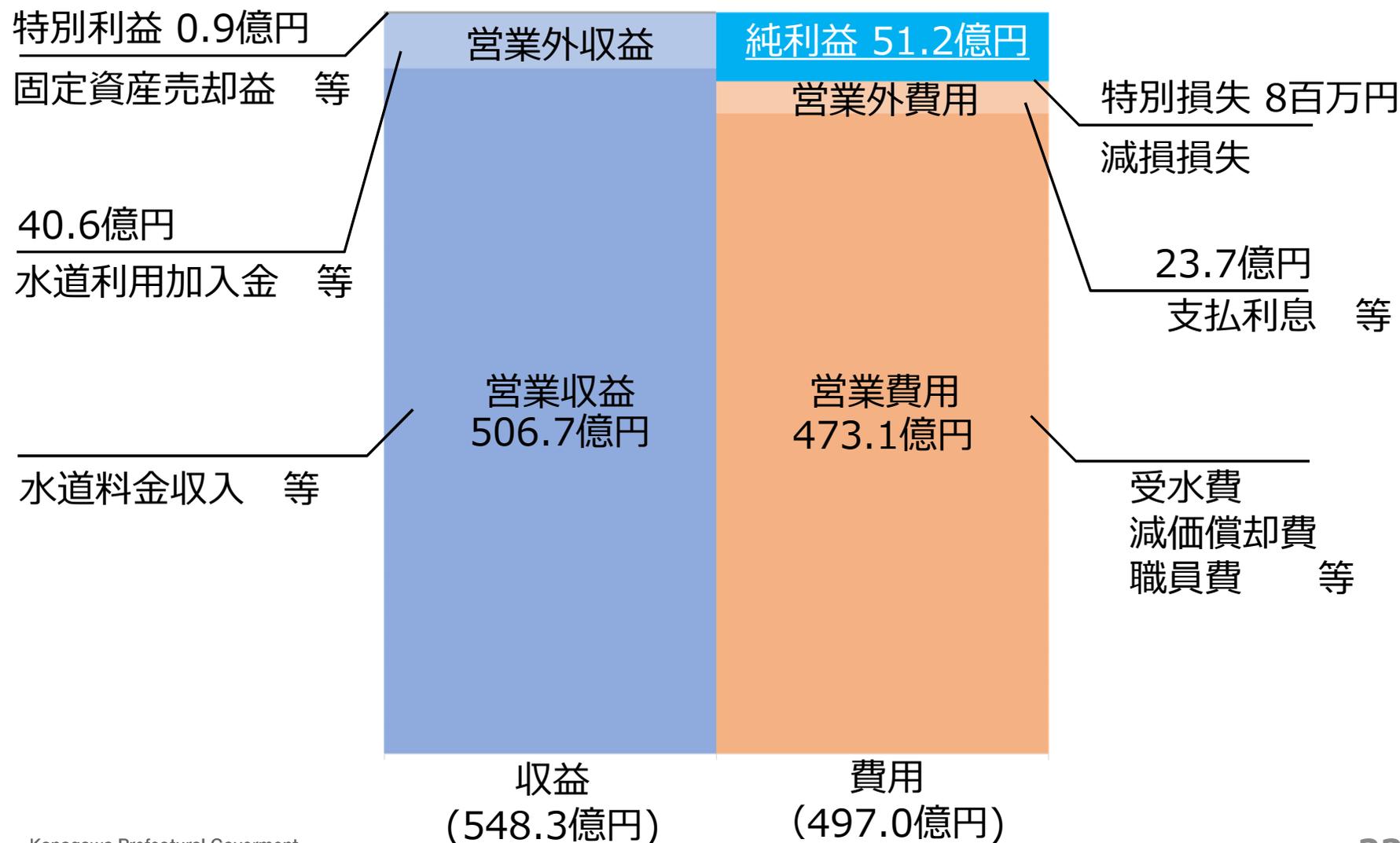
(単位：百万円)

科目等		令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	15,292	8,825	6,466
企業債		9,000	4,000	5,000
他会計からの長期借入金		6,000	4,500	1,500
その他収入		292	325	△ 33
資本的支出	b	34,333	30,307	4,026
一般建設改良費等		19,569	17,228	2,341
企業債償還金等		14,764	13,078	1,685
補填財源 (a-b)	c	△ 19,041	△ 21,481	2,440

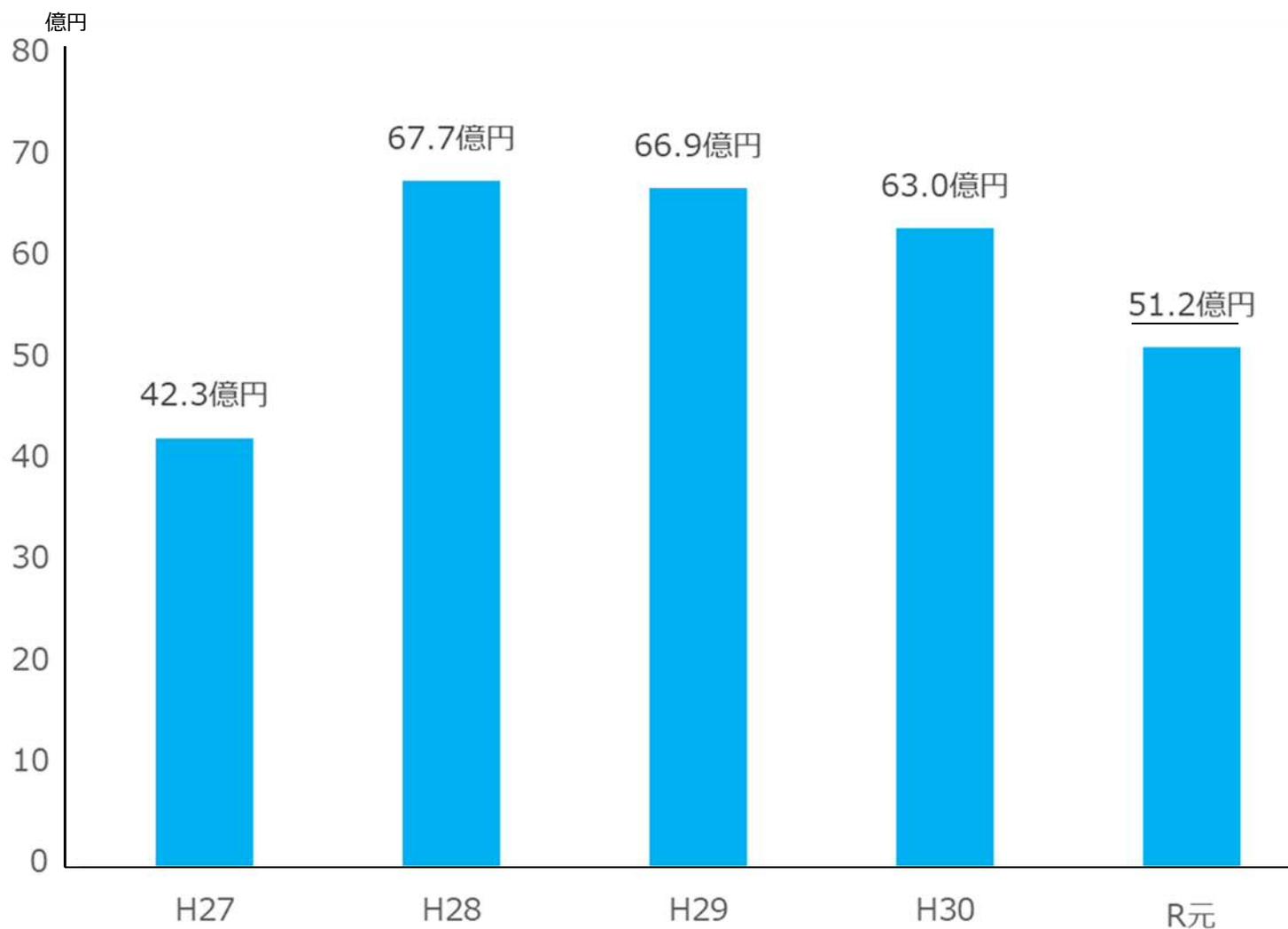


2 グラフで見る決算書

(1) 損益計算書グラフ



(2) 当年度損益の推移

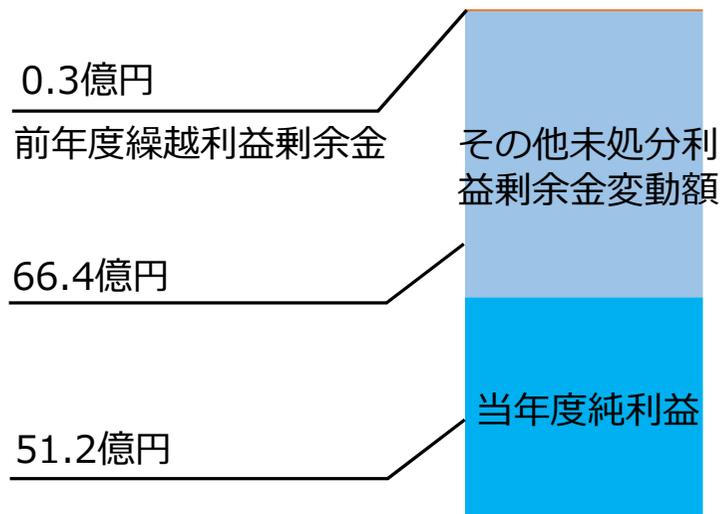


2 グラフで見る決算書

(3) 剰余金の処分

＜当年度未処分利益剰余金＞ (単位：百万円)

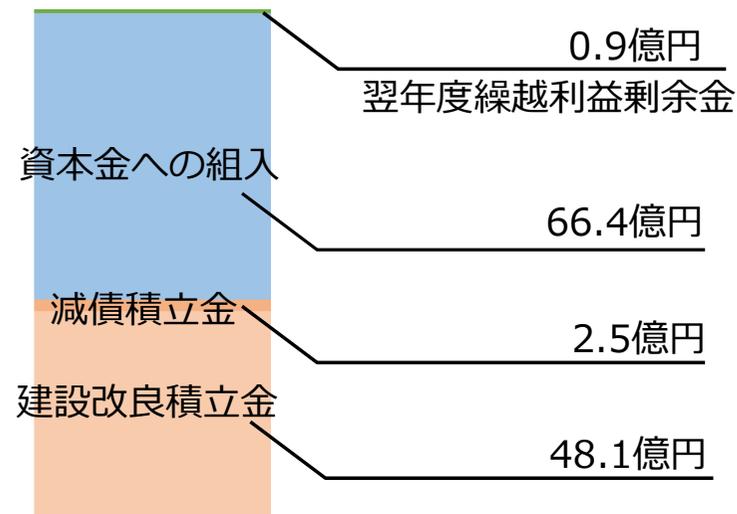
摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	35
その他未処分利益剰余金変動額	6,641
当年度純利益	5,129
当年度未処分利益剰余金	11,806



当年度未処分利益剰余金

＜剰余金の処分案＞ (単位：百万円)

摘要	金額
当年度未処分利益剰余金	11,806
資本金への組入	△ 6,641
減債積立金	△ 257
建設改良積立金	△ 4,817
翌年度繰越利益剰余金	91



利益処分(案)

2 グラフで見る決算書

水道事業会計

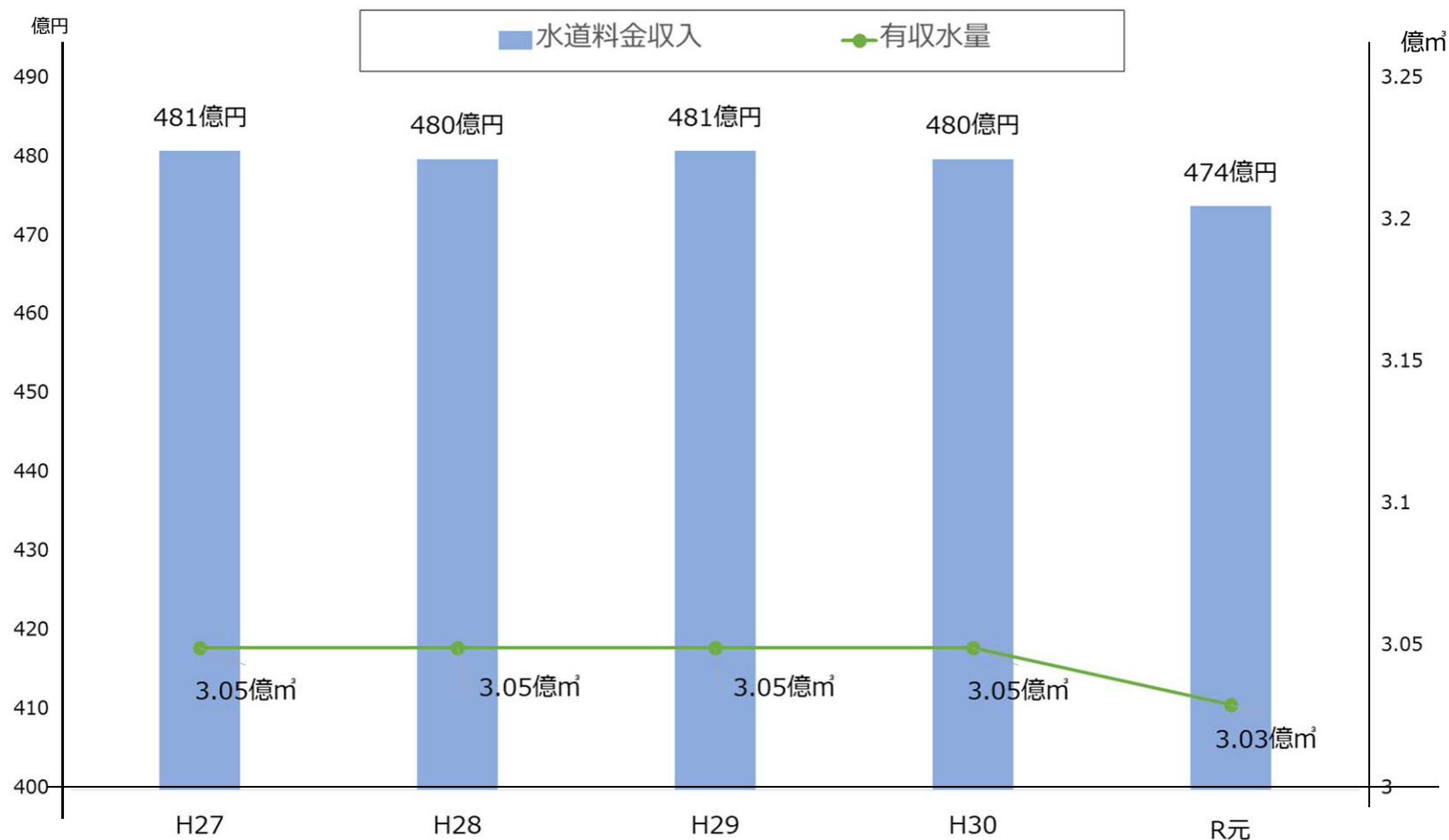
(4) 水道料金収入

＜水道料金収入の前年度比較＞

区分	年度	令和元年度 (A)	構成比 (%)	平成30年度 (B)	構成比 (%)	比較増減 (A)-(B)	前年対比 (A)/(B)(%)
給水区域		12市6町	-	12市6町	-	-	-
給水戸数		1,359,322 戸	-	1,346,754 戸	-	12,568 戸	100.9
給水人口		2,826,838 人	-	2,820,981 人	-	5,857 人	100.2
有収水量		303,032,693 m ³	-	305,188,629 m ³	-	△2,155,936 m ³	99.3
水道料金 (税込)		51,575,327 千円	100.0	51,840,033 千円	100.0	△264,706 千円	99.5
水道料金 (税抜)		47,460,611	-	48,010,374	-	△549,763	98.9
使用 区 分 (税 込)	家事用	33,946,129 千円	65.8	33,853,323 千円	65.3	92,806 千円	100.3
	業務用	16,398,911	31.8	16,735,194	32.3	△336,283	98.0
	営業用	(9,230,319)	(17.9)	(9,306,306)	(18.0)	(△ 75,986)	(99.2)
	公共用	(2,466,688)	(4.8)	(2,557,928)	(4.9)	(△ 91,241)	(96.4)
	工業用	(4,701,903)	(9.1)	(4,870,960)	(9.4)	(△ 169,056)	(96.5)
	浴場用	38,124	0.1	44,212	0.1	△6,088	86.2
	浴場用	(3,437)	(0.0)	(3,691)	(0.0)	(△ 255)	(93.1)
	プール用	(34,686)	(0.1)	(40,520)	(0.1)	(△ 5,834)	(85.6)
	一時用	237,936	0.5	262,480	0.5	△24,543	90.6
	分水	954,225	1.8	944,822	1.8	9,403	101.0

2 グラフで見る決算書

＜水道料金収入（税抜き）と有収水量の推移＞

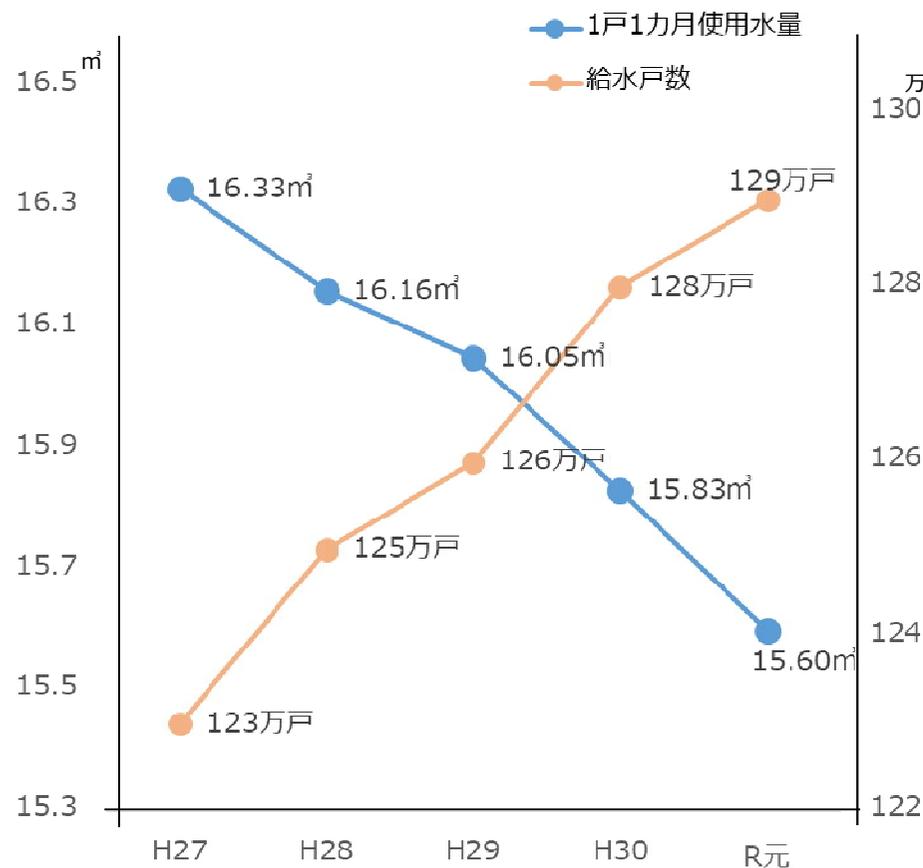


2 グラフで見る決算書

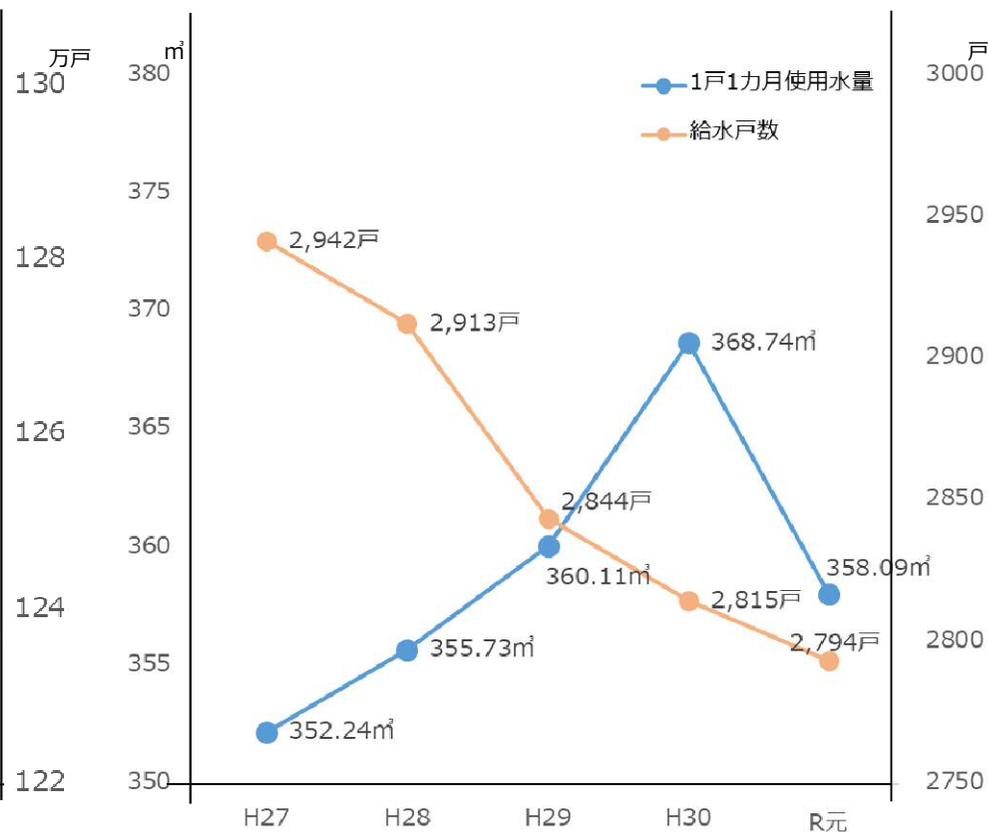
水道事業会計

＜参考＞ 家事用・工業用の1戸1か月使用水量と給水戸数の推移

＜家事用＞



＜工業用＞



(5) 水道料金の免除の状況

免除の概要

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの間に督促から5年を経過し、かつ債務者の所在不明等により納入見込みのない水道料金について、神奈川県営上水道条例に基づき免除する。

件数及び金額の合計額

12,525件、33,562,887円（平成30年度 12,659件、35,169,003円）

免除の内訳

理由別内訳

- ・ 債務者の所在不明
12,449件 32,314,652円
- ・ 債務者の破産
76件 1,248,235円

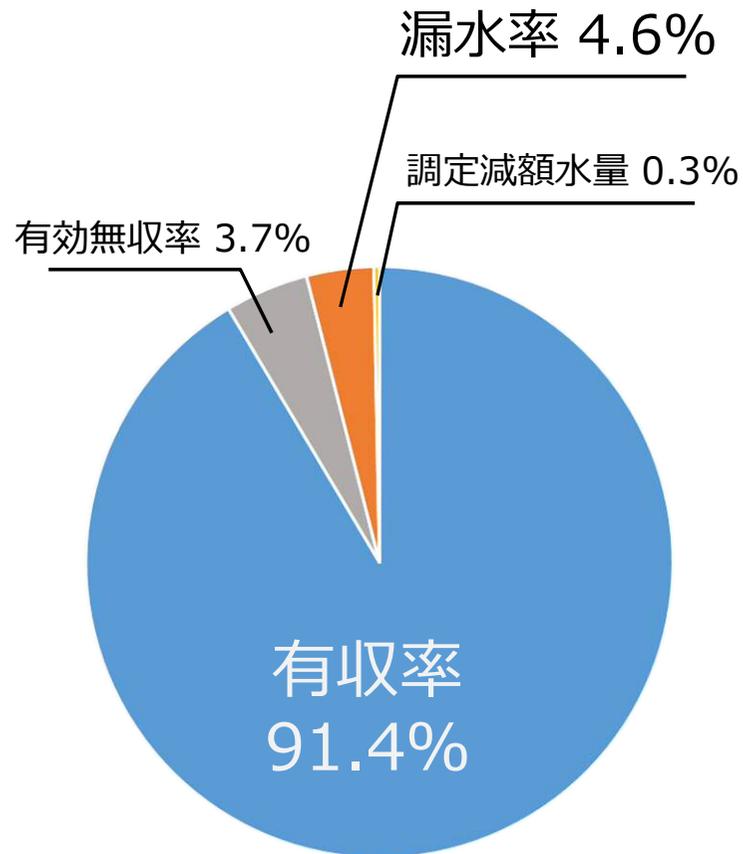
用途別内訳

- ・ 家事用
11,814件 27,018,305円
- ・ 業務用他
711件 6,544,582円

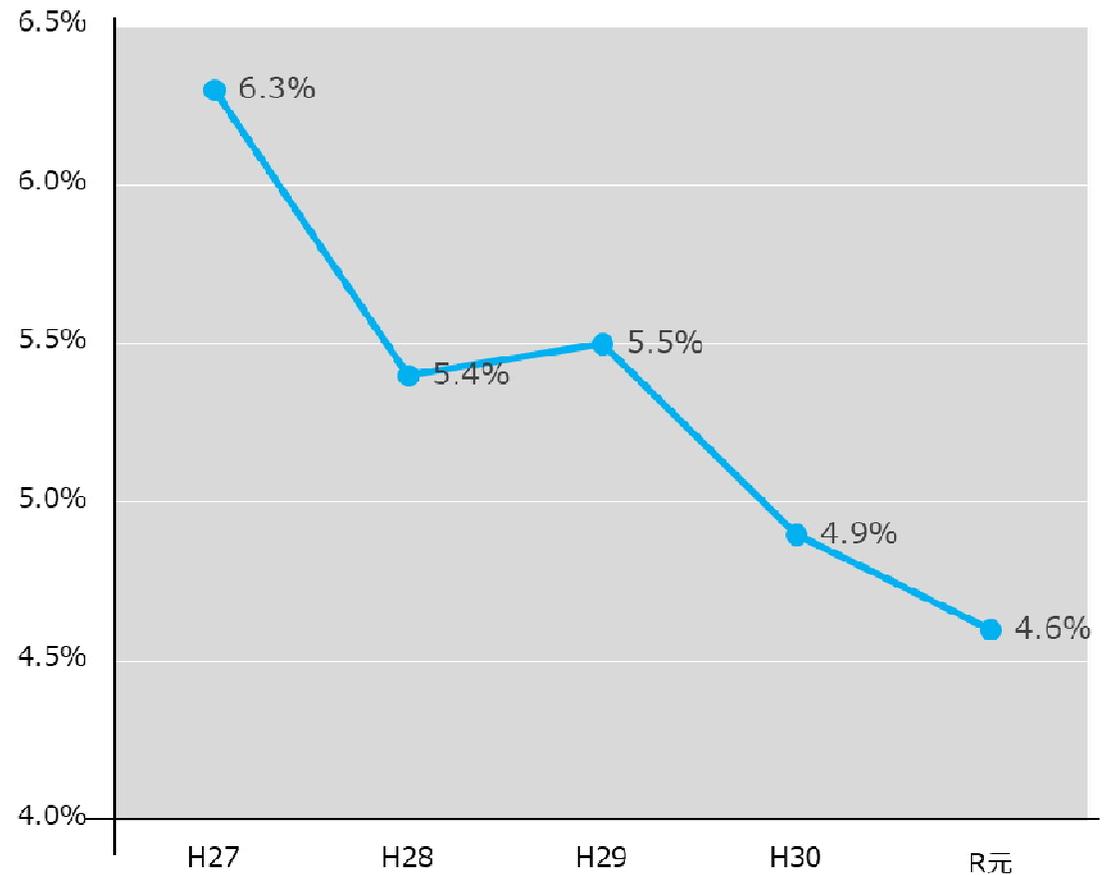
金額帯		件数
500,001円以上		1件
100,001円以上	500,000円以下	11件
10,001円以上	100,000円以下	331件
10,000円以下		12,182件
合計		12,525件

(6) 漏水率の推移

＜送水量分析＞

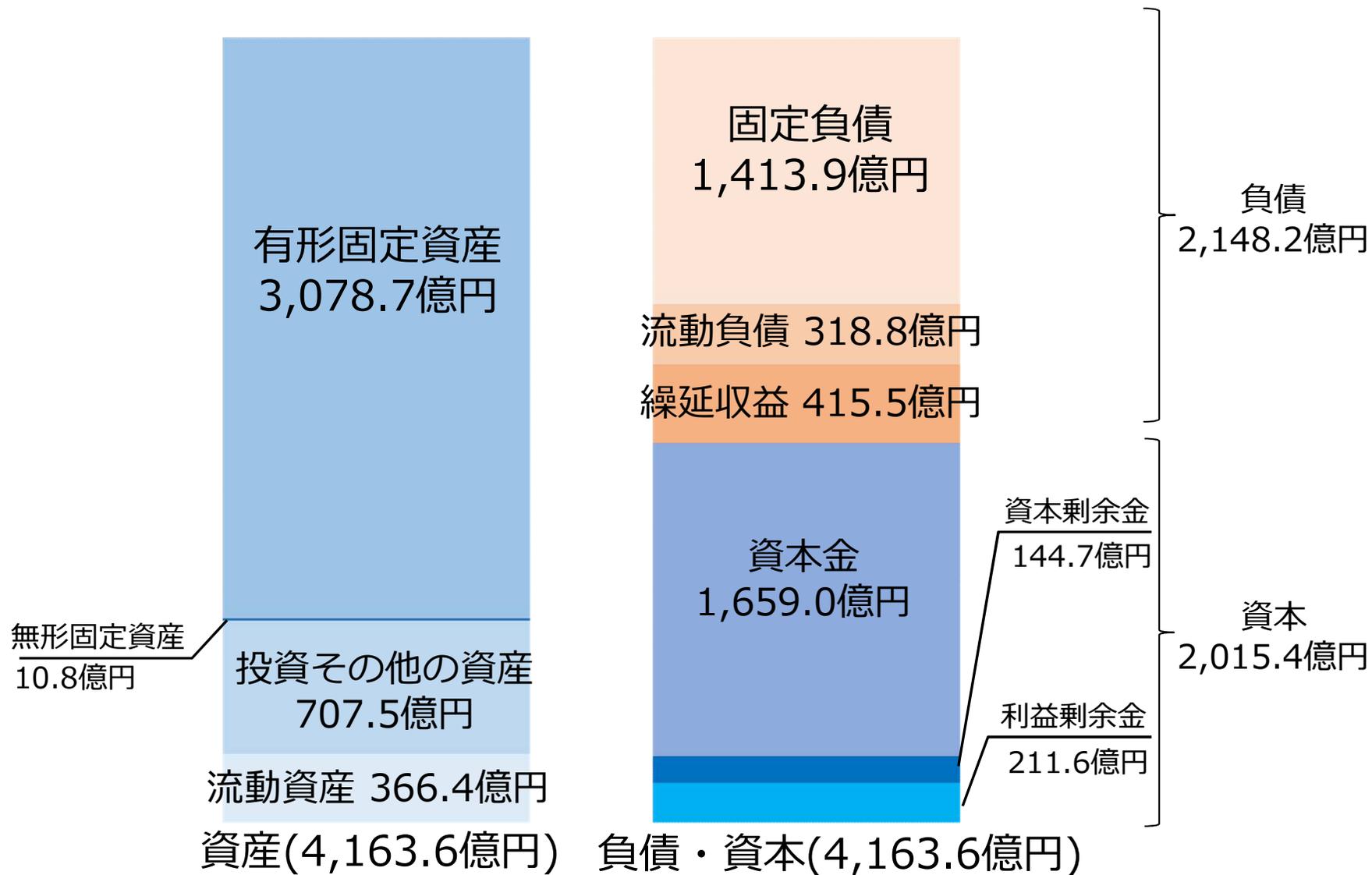


＜漏水率の推移(%)＞



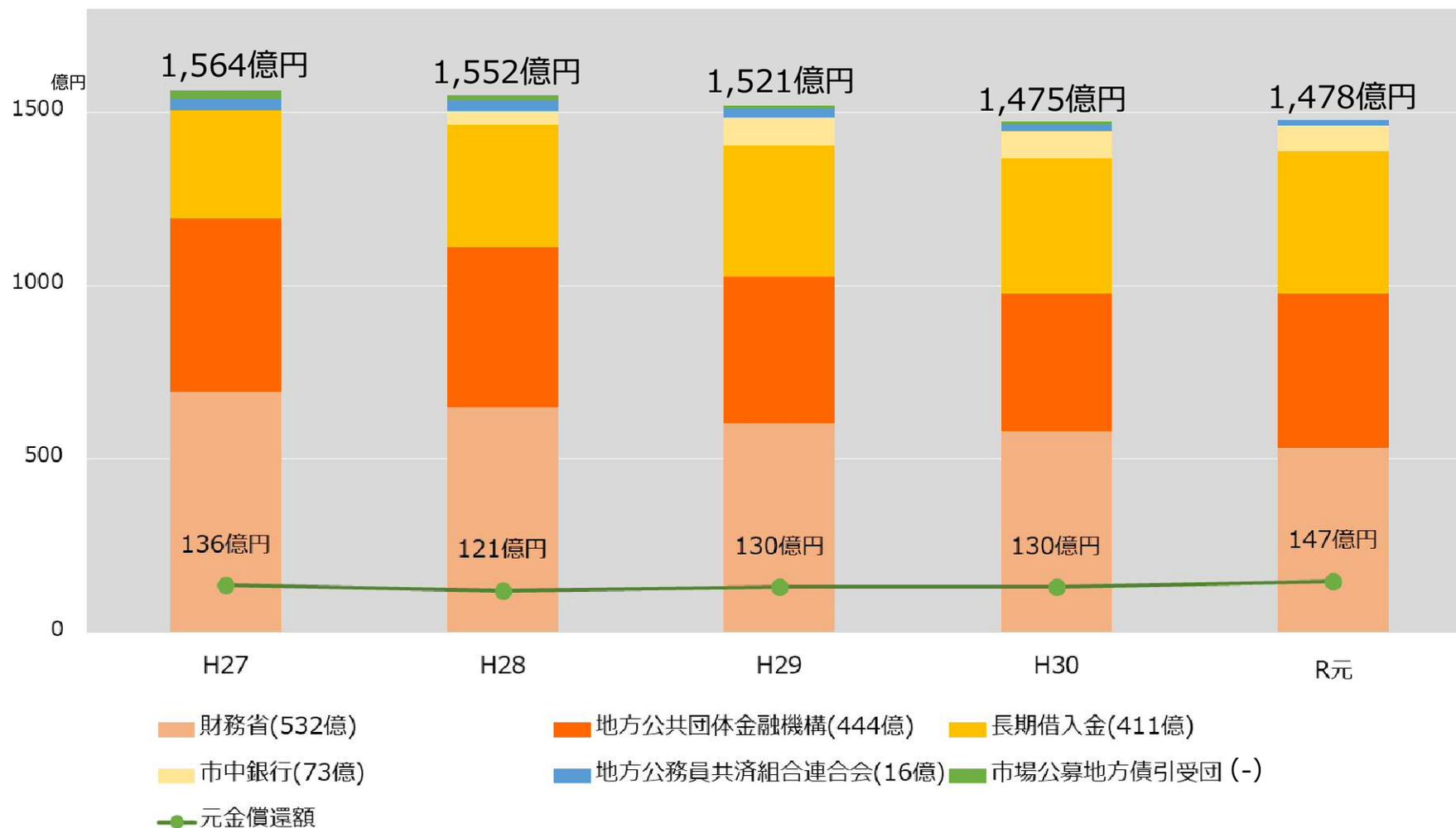
2 グラフで見る決算書

(7) 貸借対照表グラフ



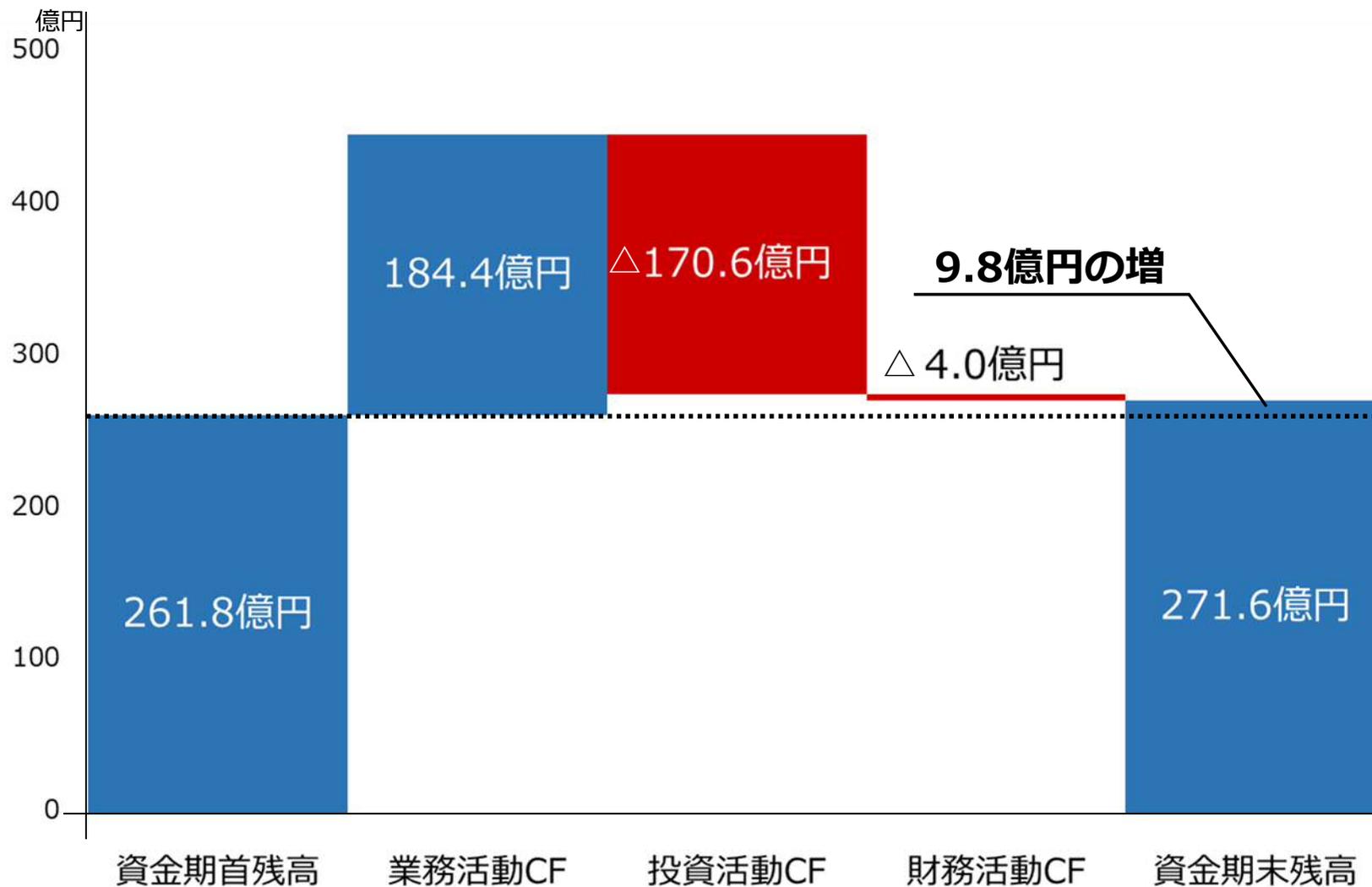
2 グラフで見る決算書

(8) 企業債・長期借入金残高の推移



※ () 内は、令和元年度末の残高である。

(9) キャッシュフローグラフ



2 グラフで見る決算書

水道事業会計

＜参考＞ 神奈川県営水道事業経営計画における財政収支見通しとの比較 (単位：億円)

科目等		年度	令和元年度 決算額	令和元年度 経営計画	計画比増減
		A	B	A-B	
収益的 収支	収益的収入	a	592	608	△ 16
	水道料金		516	521	△ 5
	水道利用加入金		19	23	△ 4
	その他収入		57	64	△ 7
	収益的支出	b	526	548	△ 22
	消費税資本的収支調整額	c	15	18	△ 3
当年度利益剰余金又は欠損金 (a-b-c)		d	51	42	9
資本的 収支	資本的収入	①	153	162	△ 9
	資本的支出	②	343	361	△ 18
	建設改良事業費等		195	213	△ 18
	元金償還金		147	148	△ 1
	資本的収支財源過不足額 (①-②)	③	△ 190	△ 199	9
資金 収支	資本的収支不足額の補填財源	④	186	180	6
	当年度分資金収支 (③ + ④)	⑤	△ 4	△ 19	15
	資金残高		184	136	48

電気事業会計

1 決算の概要

電気事業会計

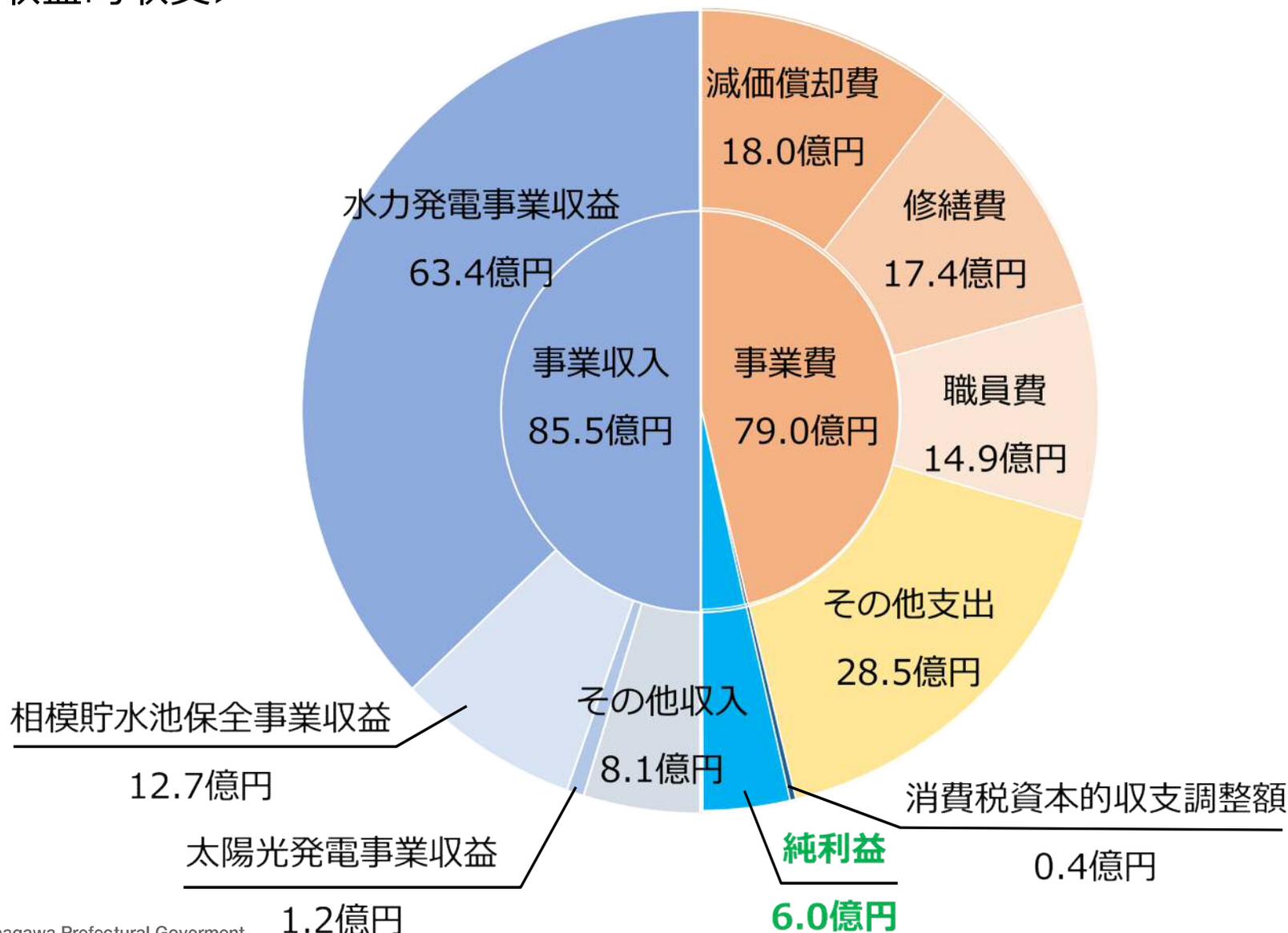
<収益的収支>

(単位：百万円)

科目等		令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入	a	8,557	8,794	△ 237
営業収益		8,401	8,199	202
水力発電事業収益		6,342	6,336	5
太陽光発電事業収益		123	130	△ 7
相模貯水池保全事業収益		1,272	1,149	122
その他収入		663	582	81
財務収益(受取利息)		18	18	0
事業外収益		133	105	28
特別利益		2	472	△ 469
収益的支出	b	7,902	7,825	77
営業費用		7,304	7,278	26
職員費		1,498	1,500	△ 2
修繕費		1,742	1,656	85
減価償却費		1,804	1,815	△ 10
その他支出		2,259	2,304	△ 45
財務費用(支払利息)		102	128	△ 25
事業外費用		495	419	75
消費税資本的収支調整額	c	48	69	△ 21
当年度純利益又は純損失 (a-b-c)	d	606	899	△ 293

1 決算の概要

<収益的収支>

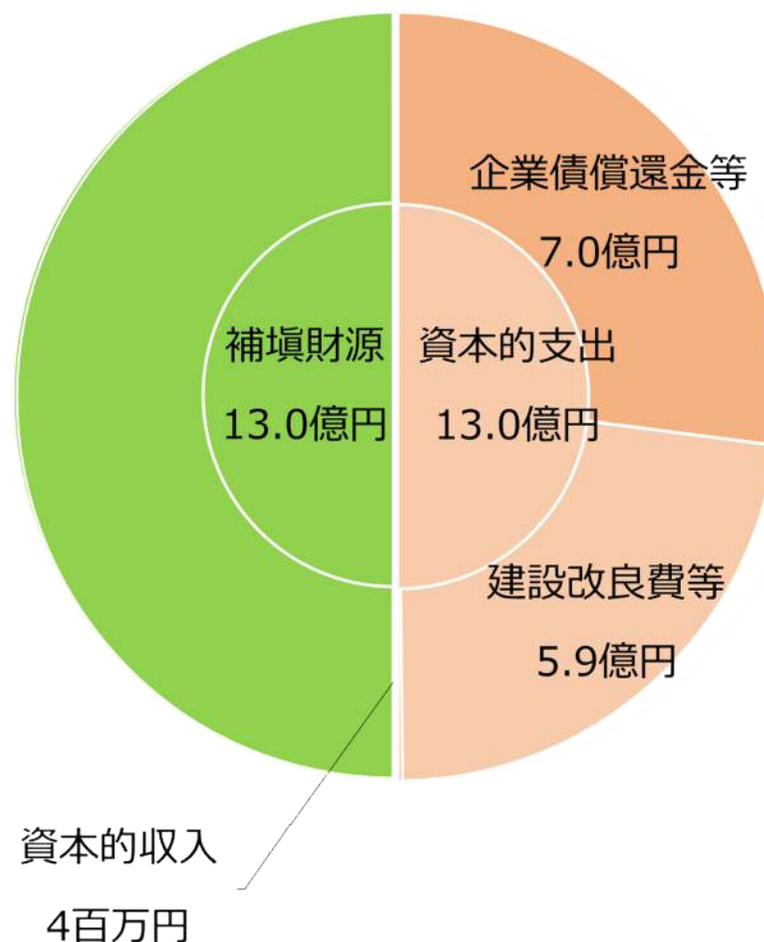


1 決算の概要

<資本的収支>

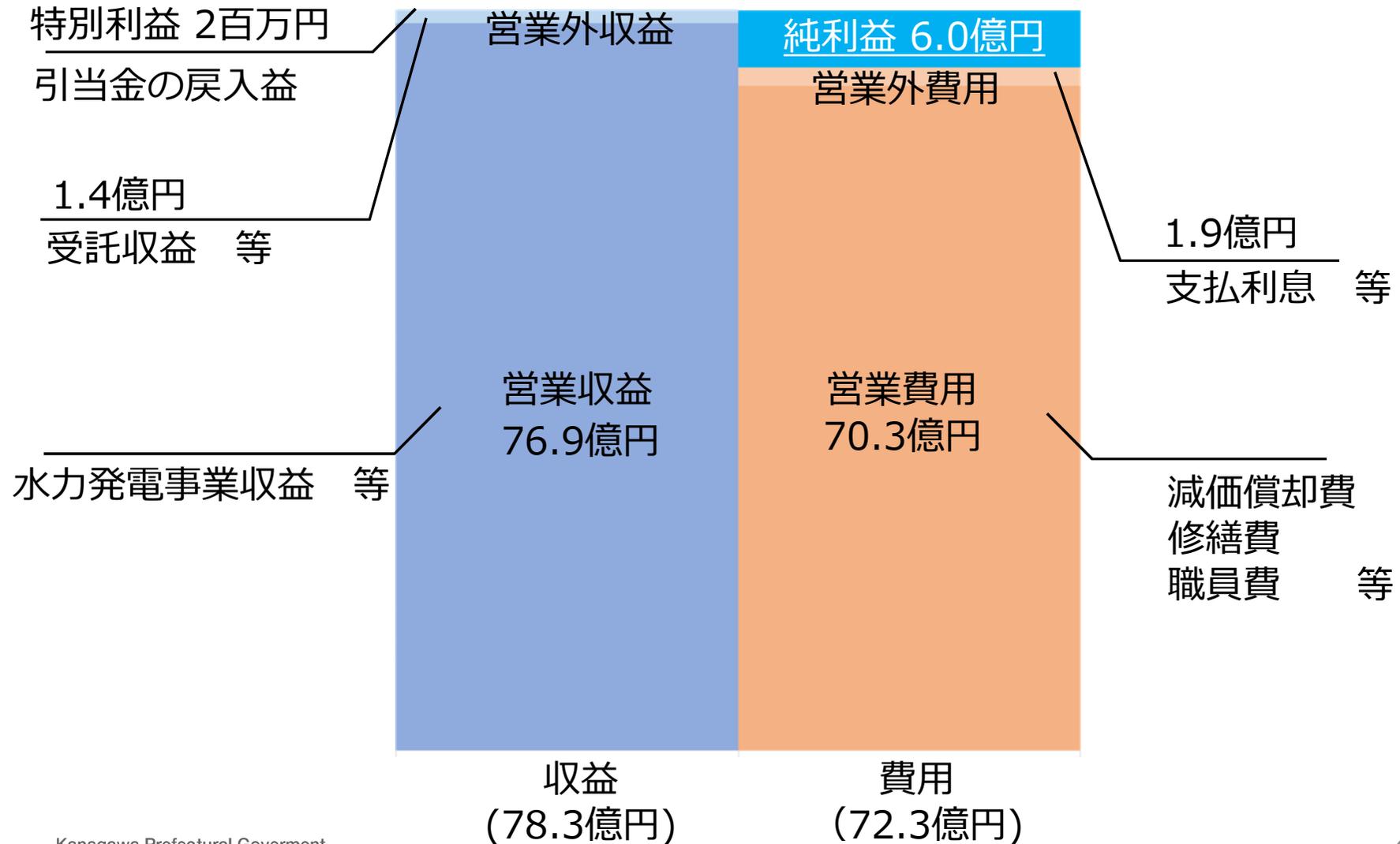
(単位：百万円)

科目等		令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	4	12	△ 8
分担金及び負担金		0	4	△ 4
運用資金償還金		2	2	0
雑収入		0	6	△ 6
補助金		2	0	2
資本的支出	b	1,304	11,780	△ 10,475
建設改良費等		597	1,034	△ 436
企業債償還金等		706	755	△ 49
運用資産費		0	9,989	△ 9,989
補填財源 (a-b)	c	△ 1,300	△ 11,767	10,467

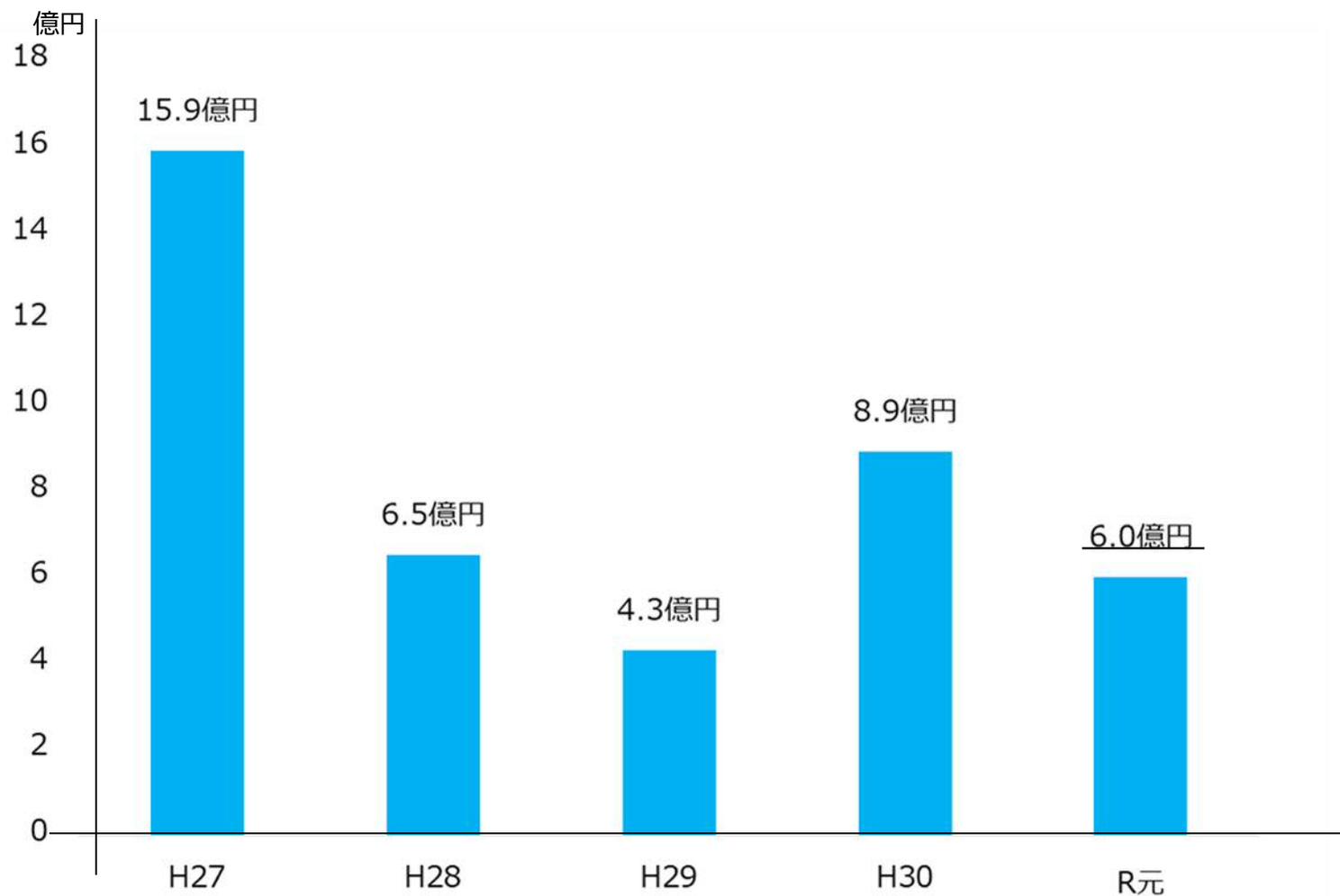


2 グラフで見る決算書

(1) 損益計算書グラフ



(2) 当年度損益の推移

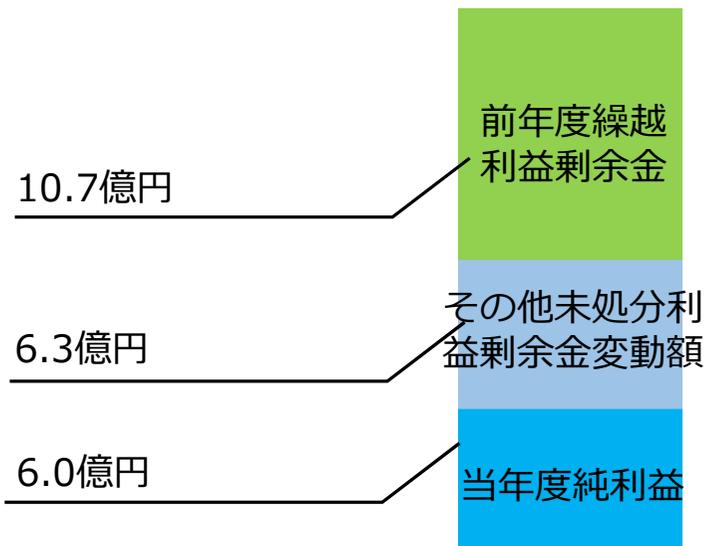


2 グラフで見る決算書

(3) 剰余金の処分

<当年度未処分利益剰余金> (単位：百万円)

摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	1,071
その他未処分利益剰余金変動額	639
当年度純利益	606
当年度未処分利益剰余金	2,316

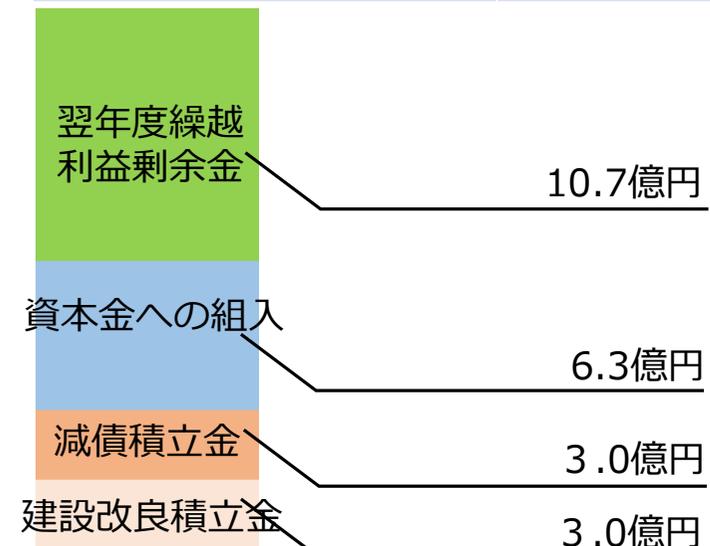


当年度未処分利益剰余金

<剰余金の処分案>

(単位：百万円)

摘要	金額
当年度未処分利益剰余金	2,316
資本金への組入	△ 639
減債積立金	△ 300
建設改良積立金	△ 300
翌年度繰越利益剰余金	1,077

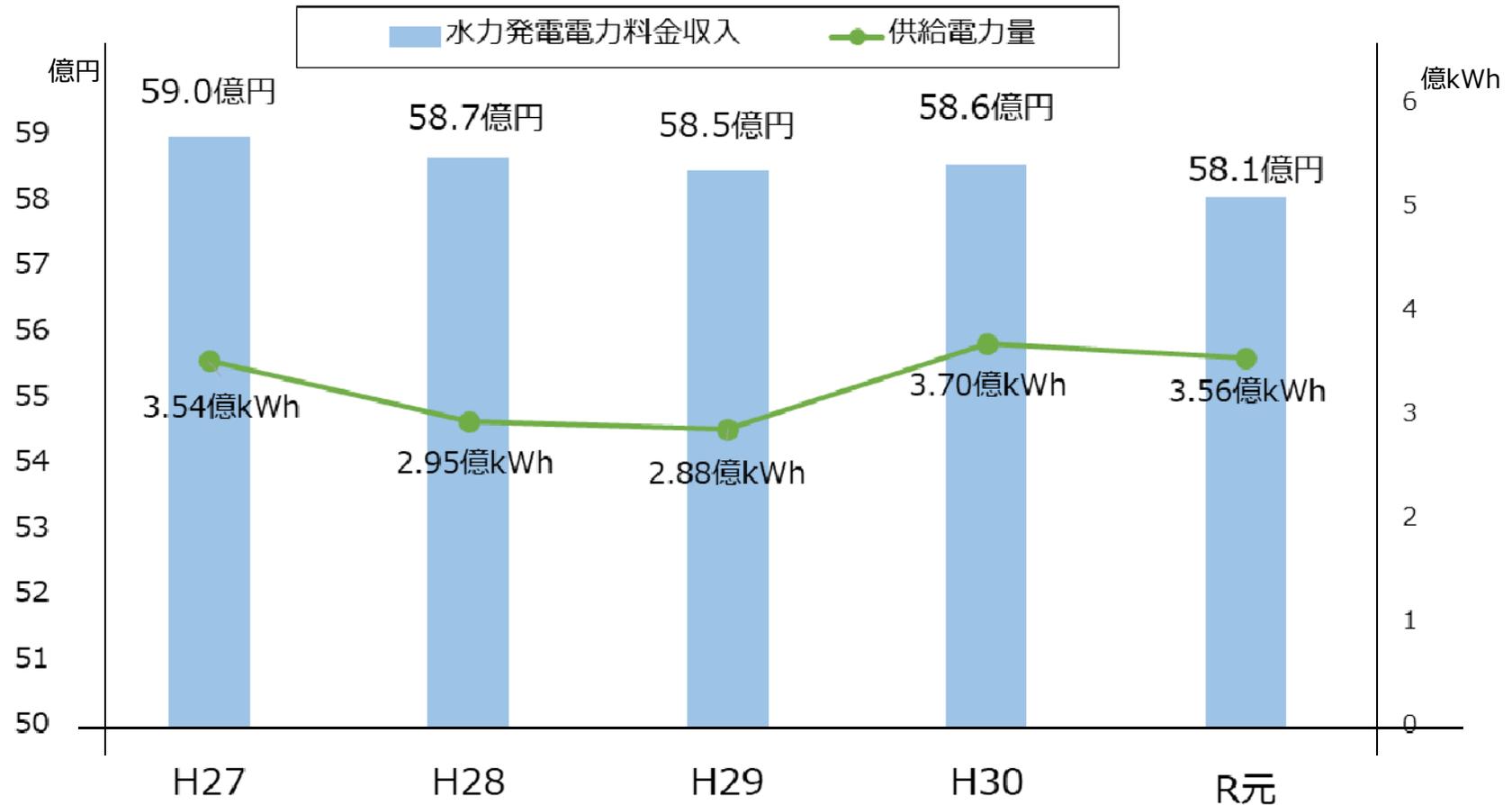


利益処分(案)

2 グラフで見る決算書

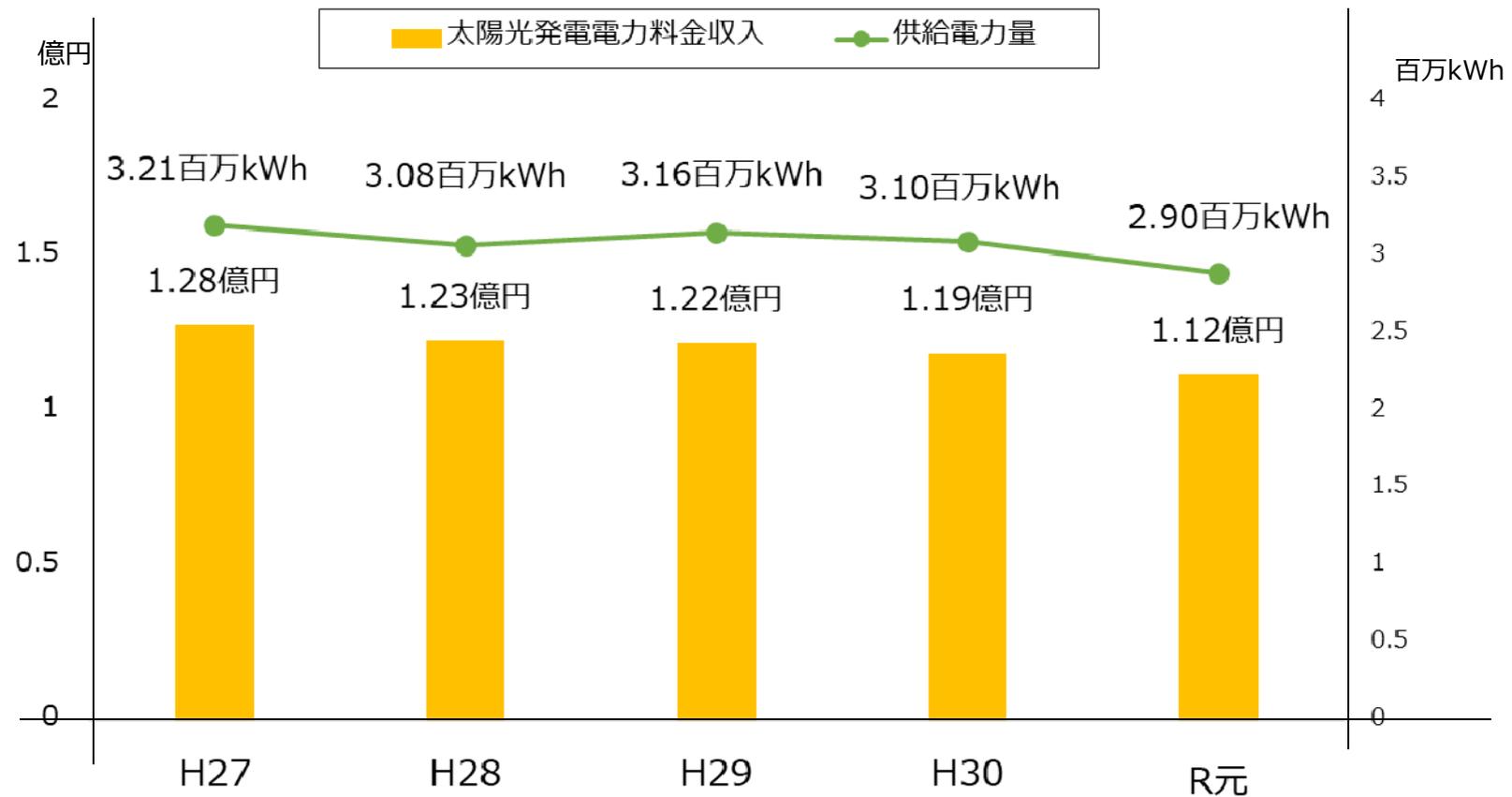
(4) 電力料金収入

＜水力発電電力料金収入（税抜き）と供給電力量の推移＞



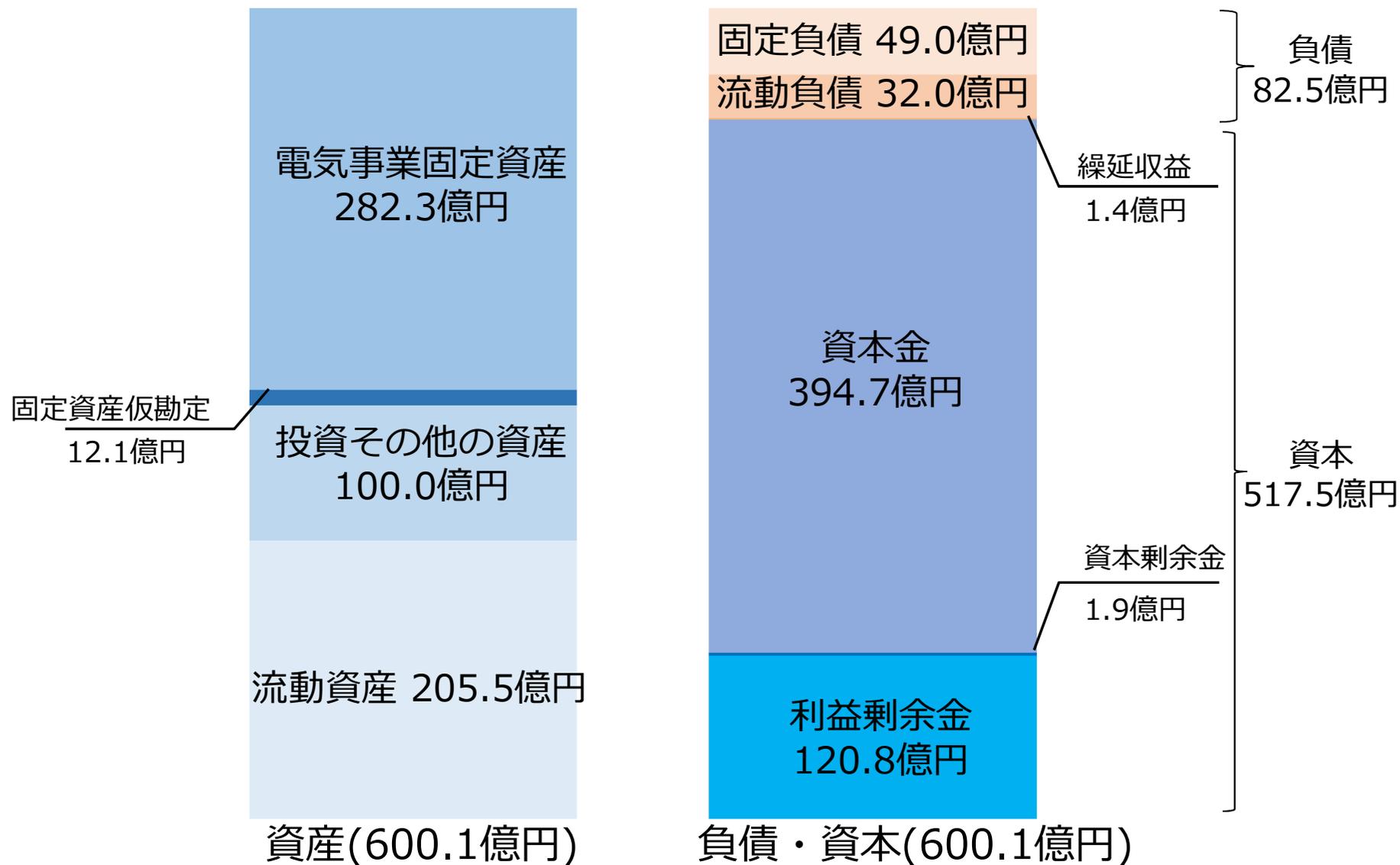
2 グラフで見る決算書

＜太陽光発電電力料金収入（税抜き）と供給電力量の推移＞



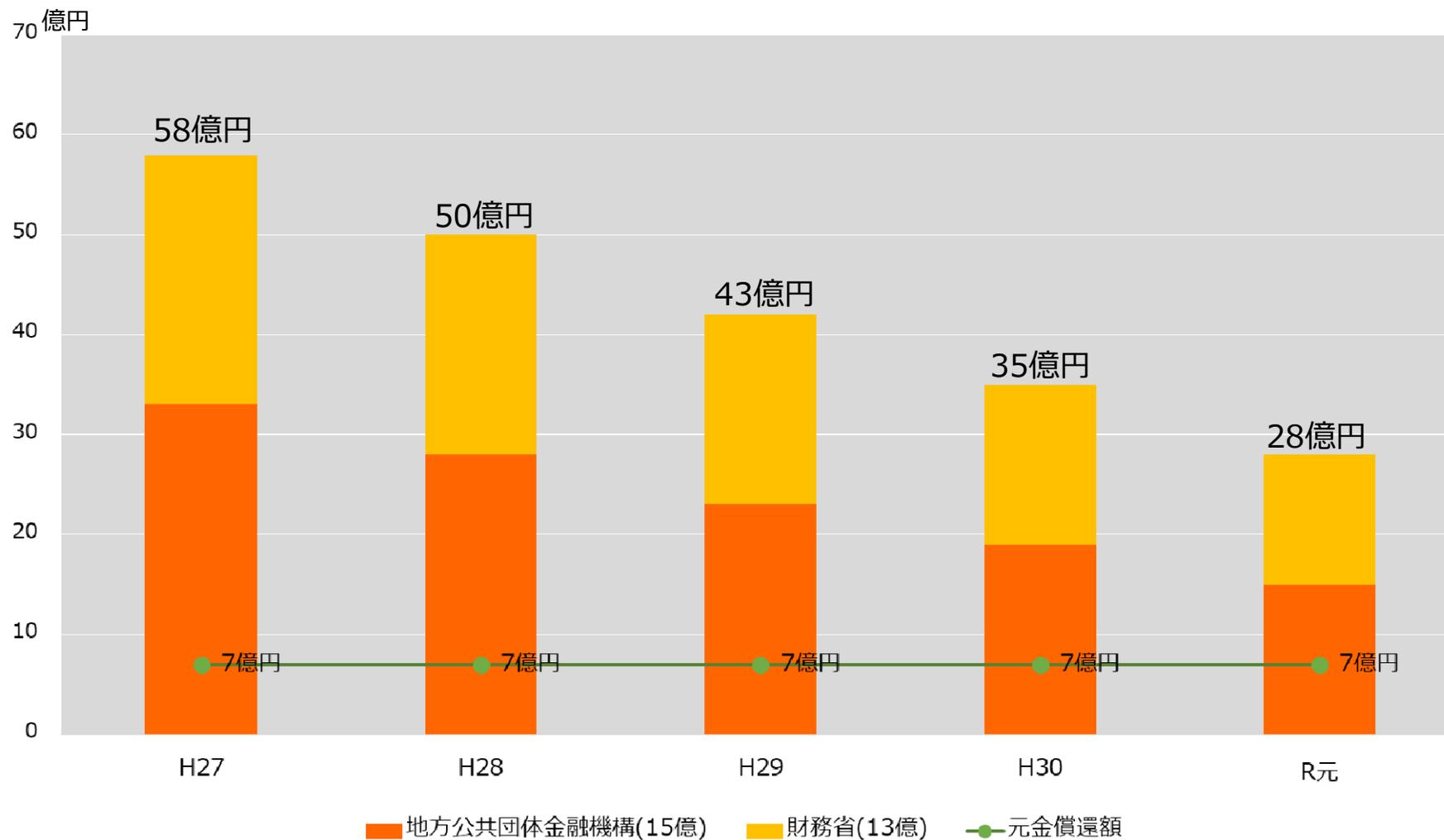
2 グラフで見る決算書

(5) 貸借対照表グラフ



2 グラフで見る決算書

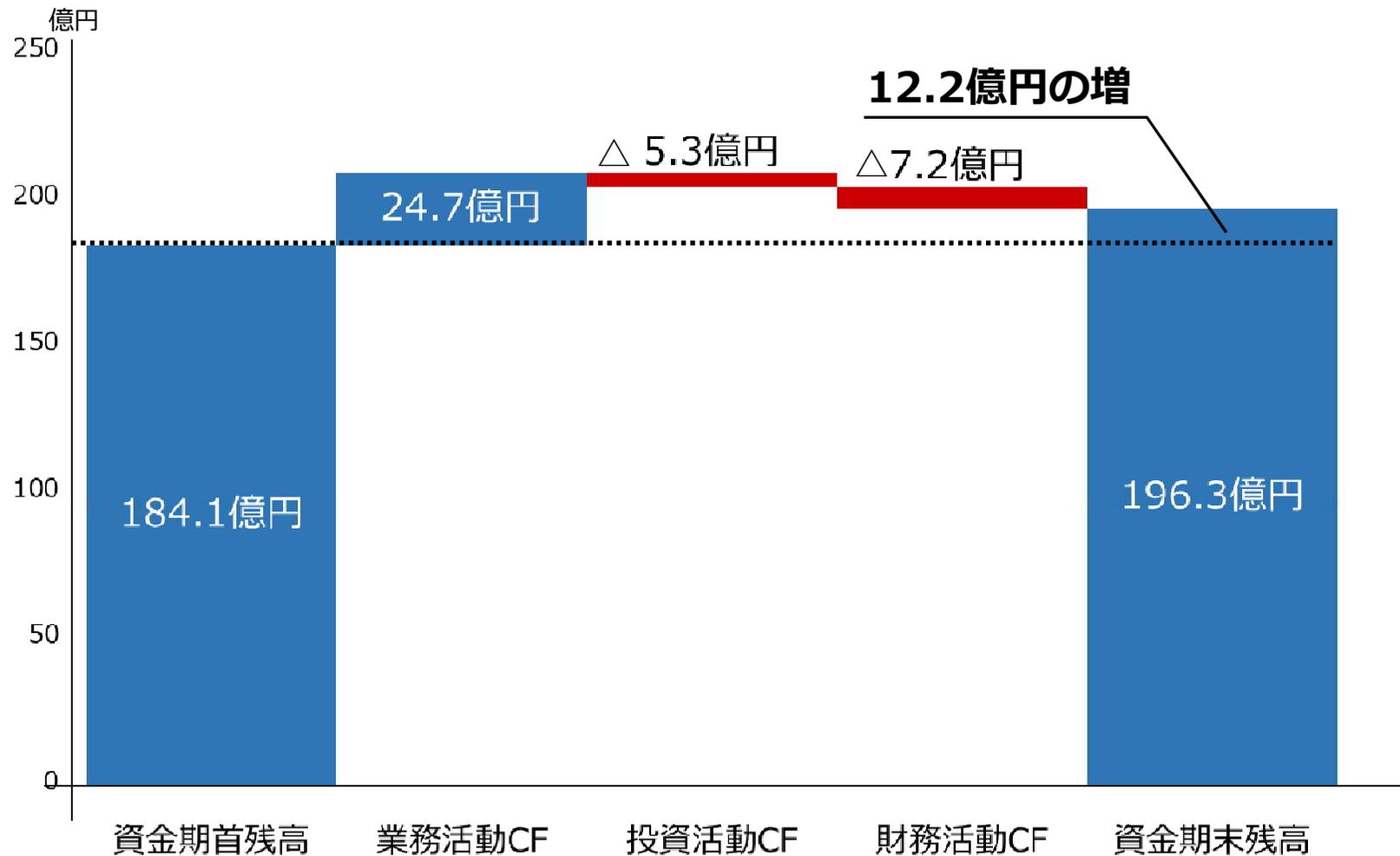
(6) 企業債残高の推移



注 () 内は、令和元年度末の残高である。

2 グラフで見る決算書

(7) キャッシュフローグラフ



2 グラフで見る決算書

電気事業会計

〈参考〉神奈川県営電気事業経営計画における財政収支見通しとの比較(単位：億円)

科目等		年 度	令和元年度 決算額	令和元年度 経営計画	計画比増減
			A	B	A-B
収益的 収支	収益的収入	a	85	88	△ 3
	水力発電料金収入		63	64	△ 1
	太陽光発電料金収入		1	1	0
	その他の収入		21	22	△ 1
	収益的支出	b	79	85	△ 6
	消費税資本的収支調整額	c	0	1	0
	当年度利益剰余金又は欠損金 (a-b-c)	d	6	2	4
資本的 収支	資本的収入	①	0	0	0
	資本的支出	②	13	15	△ 2
	建設改良事業費等		5	8	△ 3
	元金償還金		7	7	0
	資産運用費等		0	0	△ 0
	資本的収支財源過不足額 (①-②)	③	△ 13	△ 15	2
資金 収支	資本的収支不足額の補填財源	④	25	22	3
	当年度分資金収支 (③ + ④)	⑤	12	7	5
	資金残高		164	149	15

公営企業資金等 運用事業会計

1 決算の概要

公営企業資金等運用事業会計

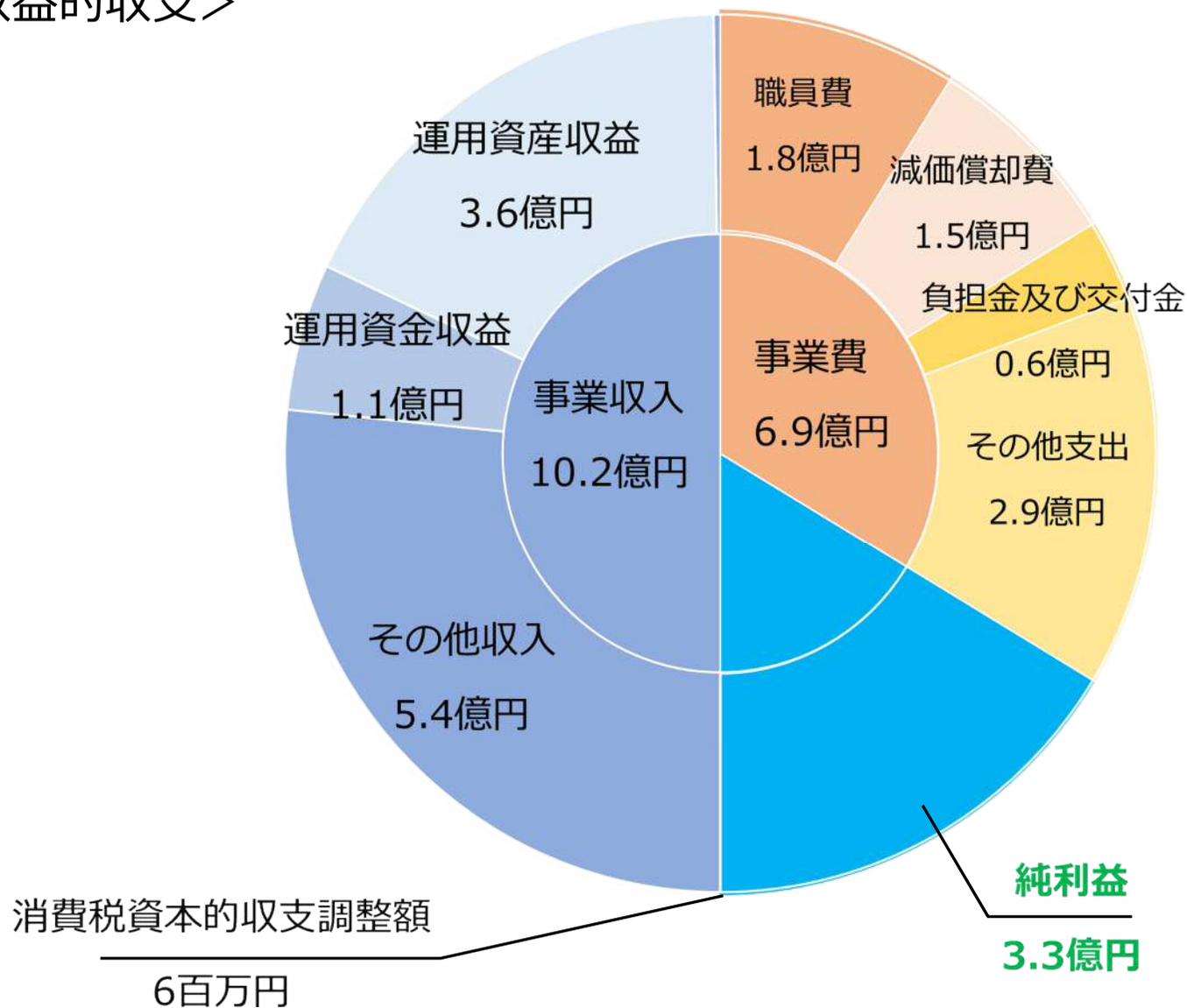
<収益的収支>

(単位：百万円)

科目等	令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入 a	1,021	1,622	△ 601
営業収益	478	1,112	△ 633
運用資金収益	115	127	△ 12
運用資産収益	360	358	2
運用資産売却収益	0	623	△ 623
その他収入	2	2	0
営業外収益	522	510	11
特別利益	21	0	21
収益的支出 b	697	700	△ 2
営業費用	449	466	△ 16
職員費	182	203	△ 21
負担金及び交付金	66	66	0
減価償却費	157	157	0
その他支出	42	38	4
営業外費用	247	233	13
消費税資本的収支調整額 c	△ 6	△ 7	1
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	331	930	△ 599

1 決算の概要

<収益的収支>

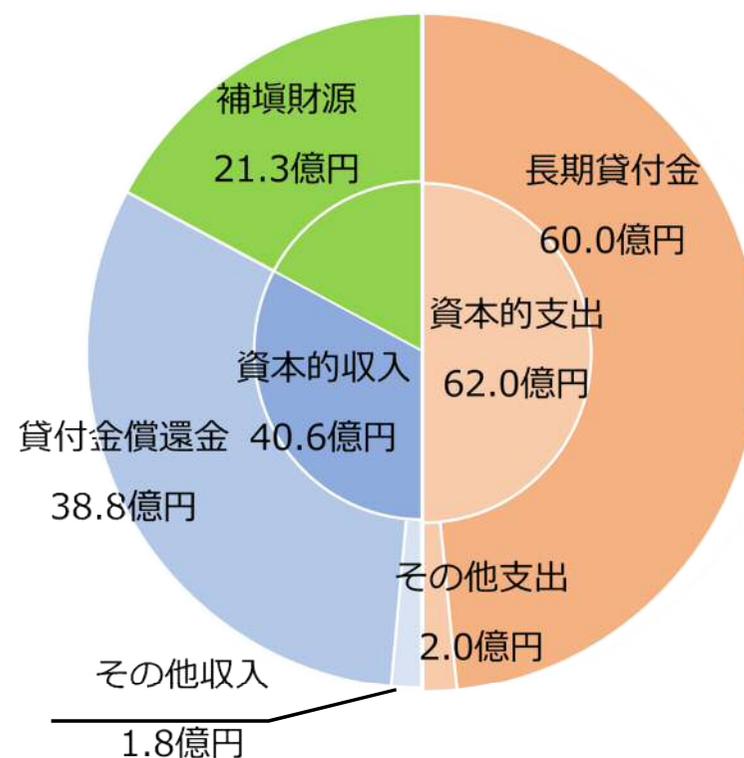


1 決算の概要

<資本的収支>

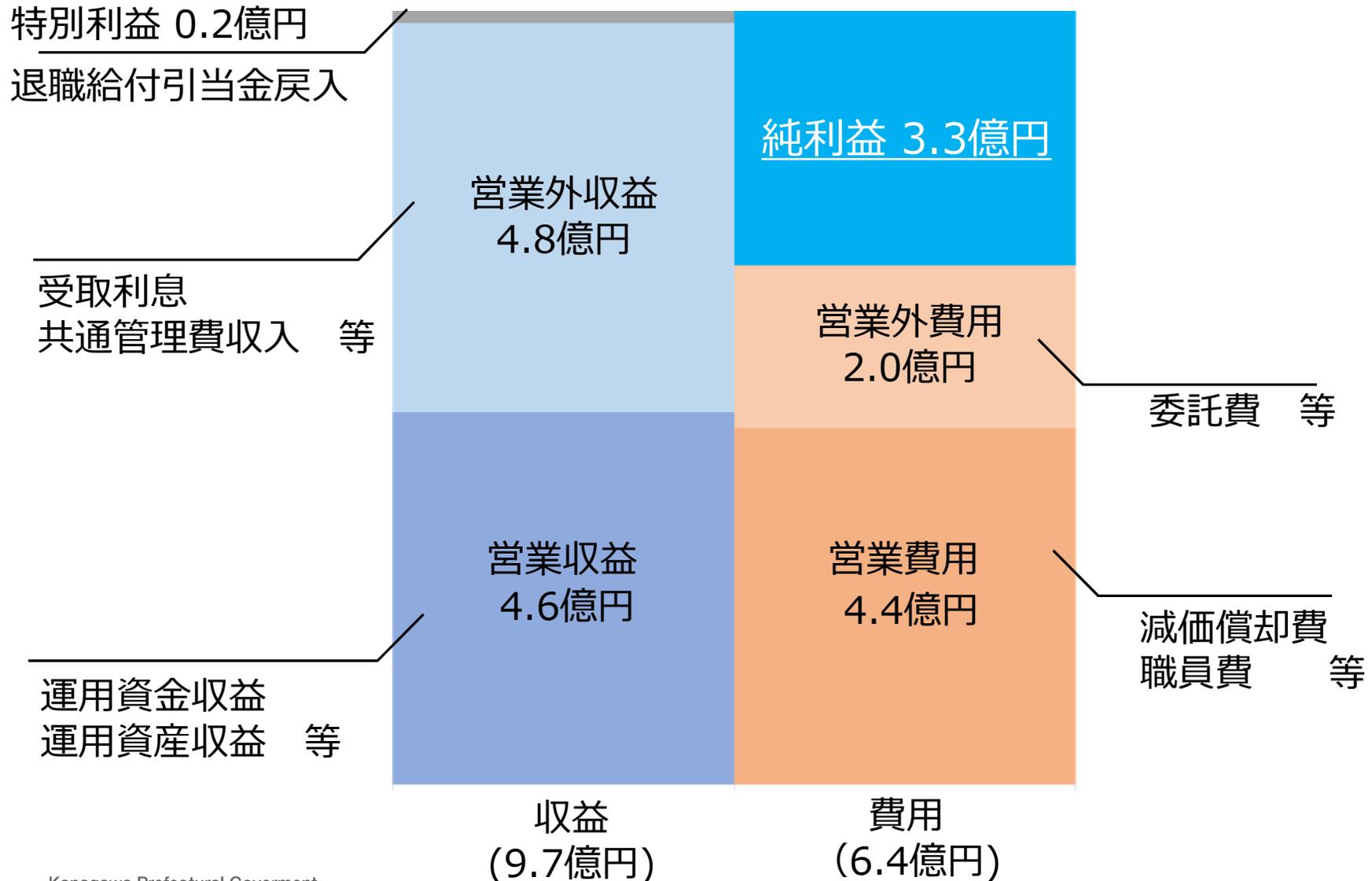
(単位：百万円)

科目等		令和元年度 決算額(A)	平成30年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	4,068	3,760	307
他会計への長期貸付金償還金		3,884	3,563	320
その他収入		183	196	△ 13
資本的支出	b	6,207	4,697	1,509
他会計への長期貸付金		6,000	4,500	1,500
その他支出		207	197	9
補填財源 (a-b)	c	△ 2,139	△ 937	△ 1,202



2 グラフで見る決算書

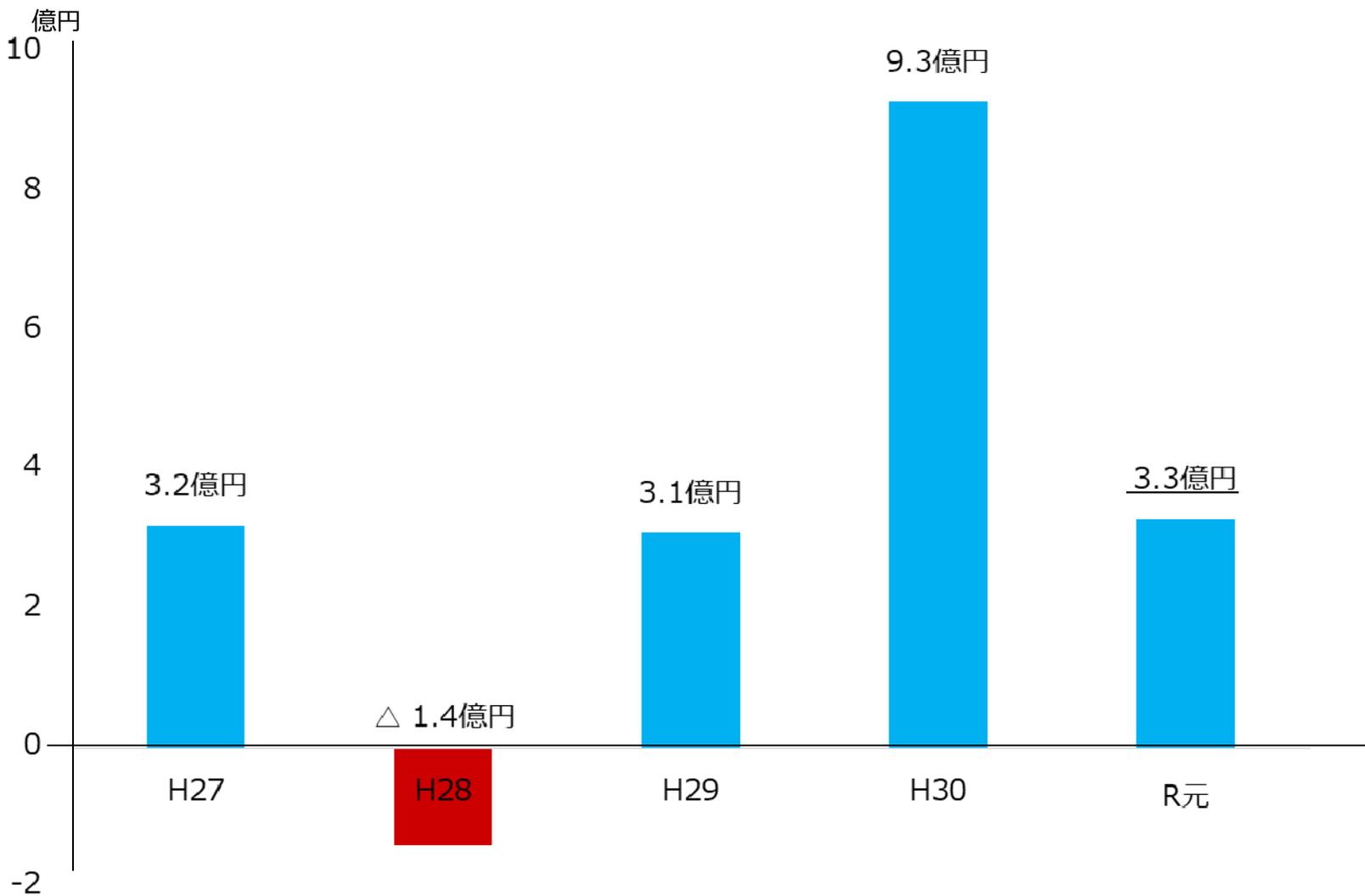
(1) 損益計算書グラフ



2 グラフで見る決算書

公営企業資金等運用事業会計

(2) 当年度損益の推移



2 グラフで見る決算書

(3) 剰余金の処分

<当年度未処分利益剰余金>

(単位：百万円)

摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	0
当年度純利益	331
当年度未処分利益剰余金	331

前年度繰越利益剰余金
12万円

当年度純利益
3.3億円

当年度未処分利益剰余金

<剰余金の処分案>

(単位：百万円)

摘要	金額
当年度未処分利益剰余金	331
利益積立金の積立	△ 154
他会計繰出金の処分	△ 176
翌年度繰越利益剰余金	0

翌年度繰越利益剰余金
71万円

利益積立金
1.5億円

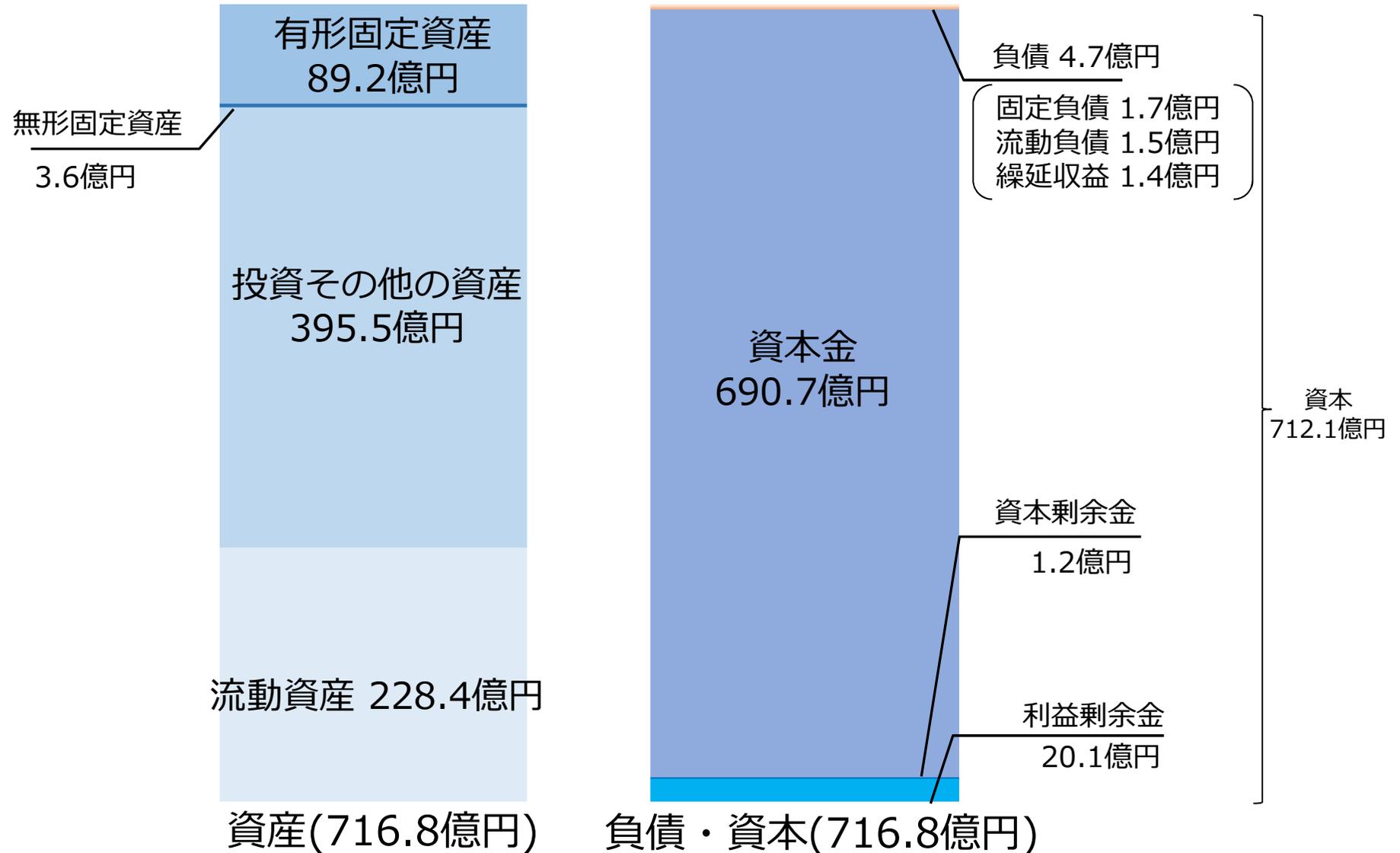
他会計繰出金
1.7億円

利益処分(案)

2 グラフで見る決算書

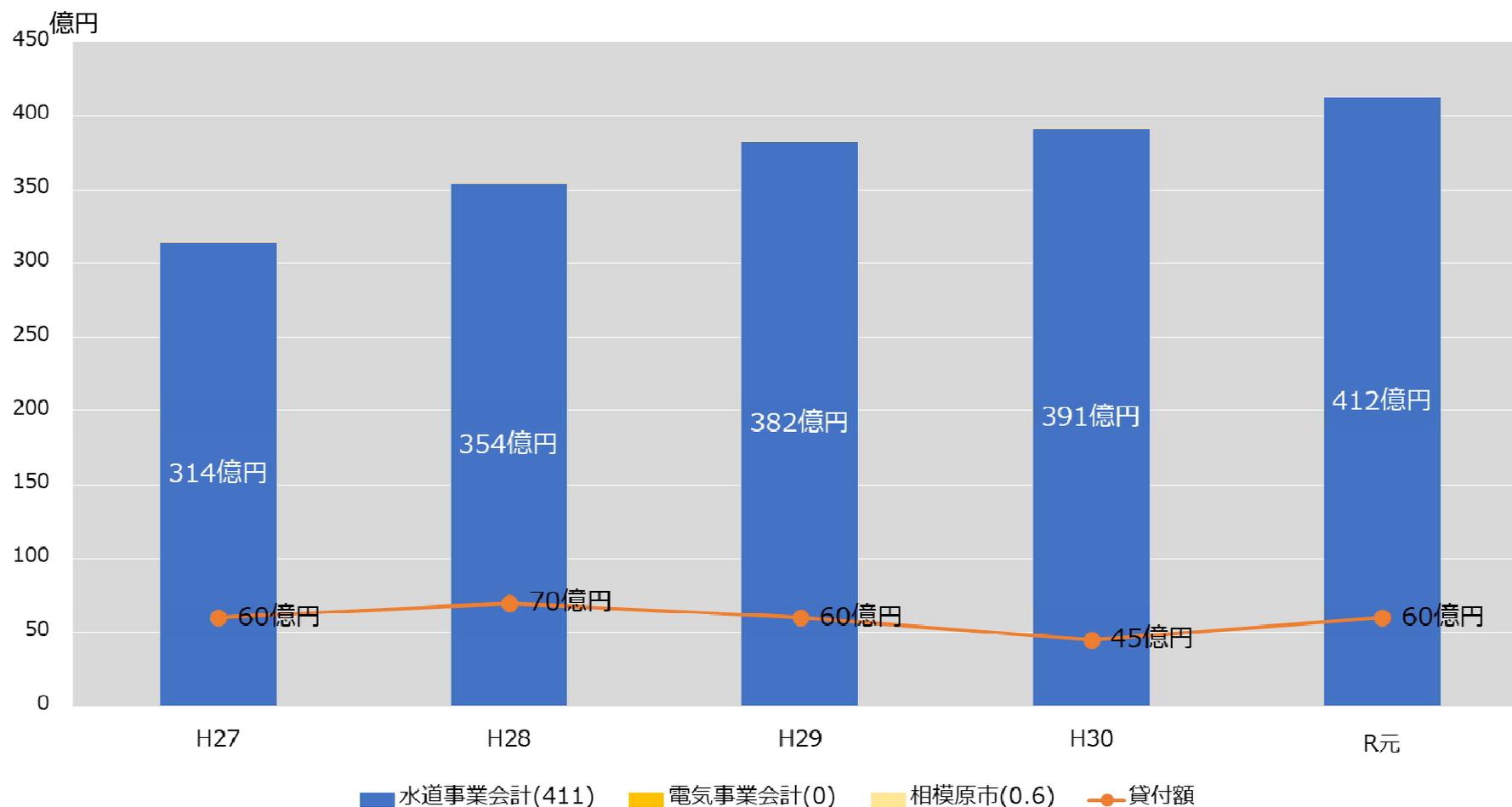
公営企業資金等運用事業会計

(4) 貸借対照表グラフ



2 グラフで見る決算書

(5) 他会計への貸付

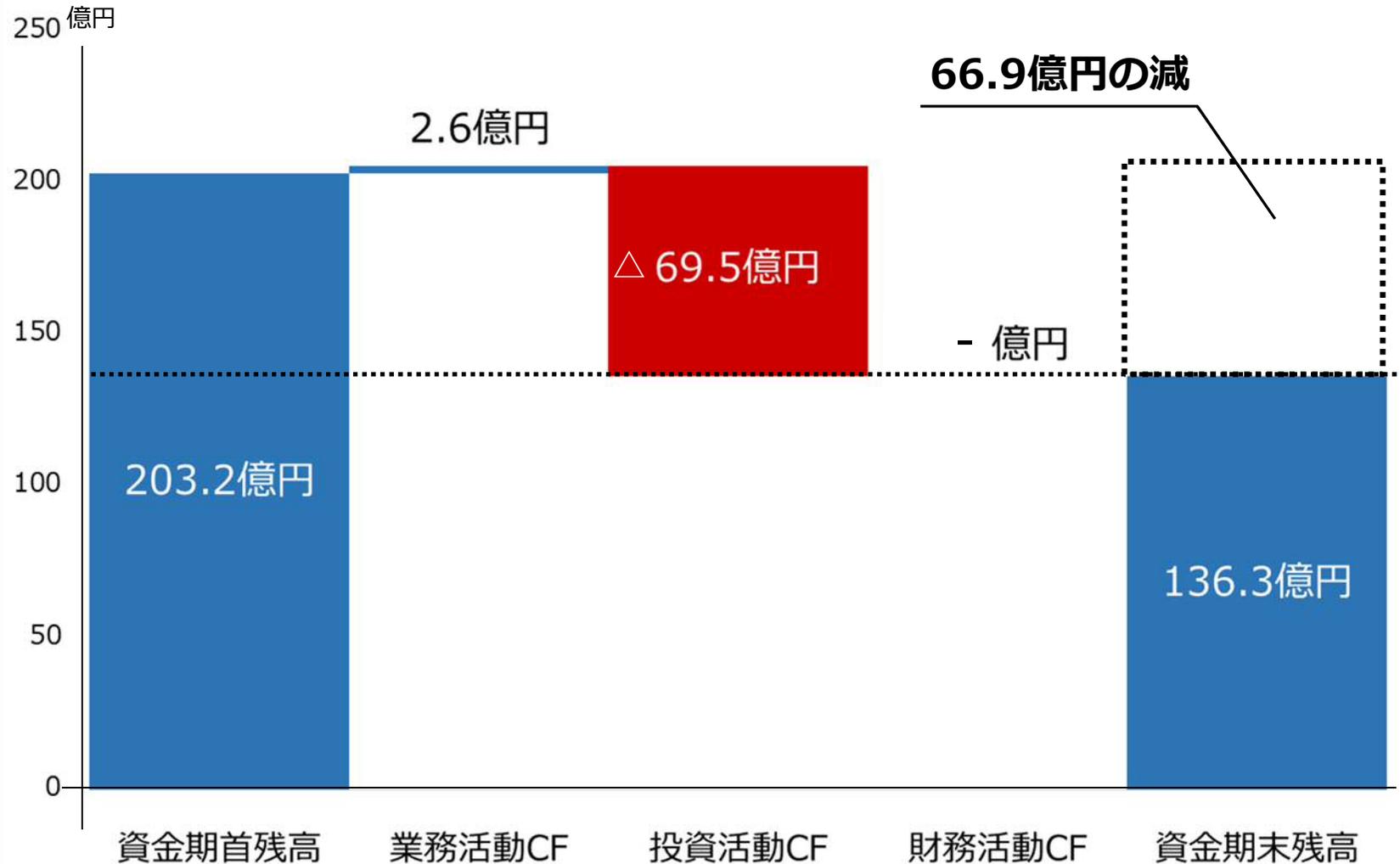


注 () 内は、令和元年度末の貸付残高である。

2 グラフで見る決算書

公営企業資金等運用事業会計

(6) キャッシュフローグラフ



相模川総合開発共同事業会計 酒匂川総合開発事業会計

1 決算の概要

相模川総合開発共同事業会計
酒匂川総合開発事業会計

(1) 相模川総合開発共同事業会計

(単位：百万円)

科目等		年度	令和元年度	平成30年度	増減額
			決算額 A	決算額 B	A - B
収益的収支	収 入		1,783	1,553	230
	支 出		1,797	1,553	244
資本的収支	収 入		932	244	688
	支 出		919	244	674
合 計	収 入		2,716	1,798	918
	支 出		2,716	1,798	918

(2) 酒匂川総合開発事業会計

(単位：百万円)

科目等		年度	令和元年度	平成30年度	増減額
			決算額 A	決算額 B	A - B
収益的収支	収 入		1,315	1,259	56
	支 出		1,315	1,259	56
資本的収支	収 入		68	362	△ 294
	支 出		68	362	△ 294
合 計	収 入		1,384	1,621	△ 237
	支 出		1,384	1,621	△ 237

ダム施設等の維持管理など経費全額を各事業者からの受託収入で賄っており、収入と支出が同額であるため、当年度損益は生じない。

(参考) 令和元年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	※ 繰越等	合計		
水道事業会計	管路更新推進事業	13,382,989	0	1,293,367	14,676,356	11,993,264	2,140,423
	水道施設整備事業	9,329,628	0	202,198	9,531,826	8,572,118	226,395
	寒川浄水場排水処理施設管理事業	719,093	0	0	719,093	716,072	0
	谷ヶ原浄水場排水処理施設更新事業	2,600,027	0	244,654	2,844,681	2,684,614	98,721
	漏水対策強化事業	207,195	0	1,328	208,523	208,522	0
	谷ヶ原浄水場遠方監視制御設備整備事業	432,955	0	12,199	445,154	445,153	0
	コンビニエンスストア収納の拡大	11,369	0	0	11,369	10,499	0
	水道スマートメーター実用化検討調査事業	7,876	0	0	7,876	6,259	0
	水道施設耐震化事業（一部再掲）	14,091,007	0	1,329,387	15,420,394	12,635,630	2,140,423
	応急給水体制整備促進事業	174,888	0	0	174,888	158,340	6,899
	緊急遮断弁接合部補強事業	42,126	0	0	42,126	20,464	0
	災害時の受援体制の強化	500	0	102	602	601	0
	水道施設の保安対策事業	151,491	0	0	151,491	117,526	0
	寒川浄水場浸水対策事業	22,627	0	0	22,627	16,469	0
	揚水ポンプ所停電対策事業	16,500	0	0	16,500	15,580	0
貯水槽水道適正管理推進事業	22,448	0	0	22,448	16,153	0	

※ 繰越等：前年度繰越額及び流用増減額を含む。次頁以降同様。

(参考) 令和元年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
水道事業会計	鉛管対策事業	14,552	0	267	14,819	14,818	0
	県営水道お客さまコールセンター運営業務委託事業	152,166	0	0	152,166	150,782	0
	お客さま意識調査事業	11,557	0	0	11,557	10,582	0
	水道管路情報図閲覧システム運営事業	23,023	0	0	23,023	21,450	0
	海外への水道技術協力事業	4,613	0	0	4,613	2,030	0
	箱根地区水道事業包括委託事業	950,481	0	0	950,481	941,564	0
	障害福祉サービス事業所への水道メーター分解作業業務委託事業	10,378	0	56	10,434	10,433	0

(参考) 令和元年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
電気事業会計	相模貯水池管理事業	810,853	0	17,766	828,619	696,845	84,975
	相模ダムリニューアル事業	257,968	0	△ 37,067	220,901	193,749	13,640
	相模貯水池大規模建設改良事業	1,420,044	0	0	1,420,044	1,294,170	0
	道志調整池保全対策事業	180,657	0	0	180,657	141,955	0
	発電所取引用計量装置整備事業	78,932	0	△ 4,210	74,722	64,258	0
	早戸川水系水力発電推進事業	45,397	0	0	45,397	33,253	0
	水素エネルギー利用の技術的研究	5,200	0	4,210	9,410	9,177	0
	次世代エネルギーパーク普及・啓発事業	14,765	0	△ 122	14,643	11,286	0
	「かながわの水がめ」ホームページの改修（一部再掲）	9,890	0	0	9,890	9,548	0
	開かれたダム・発電所を目指した取り組み（一部再掲）	15,627	0	△ 122	15,505	11,622	0
	ダム・発電所地域振興助成事業	18,000	0	0	18,000	12,019	0

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
公営企業資金等 運用事業会計	水道事業会計への長期貸付金	7,000,000	0	0	7,000,000	6,000,000	0
	山北町洒水の滝遊歩道整備事業	10,050	0	0	10,050	1,232	0
	寒川町営プール整備事業	31,863	0	0	31,863	25,868	0
	L I N Eによる情報発信	5,000	0	0	5,000	3,311	0

(参考) 令和元年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
相模川総合開発 共同事業会計	城山ダム施設管理事業	2,306,557	151,000	78,024	2,535,581	2,175,188	208,637
酒匂川総合 開発事業会計	三保ダム施設管理事業	1,103,978	0	0	1,103,978	796,995	179,663
	貯水池等保全対策事業	583,249	60,000	0	643,249	563,398	40,091